

# 令和2年度 業務実績報告書

令和2年度においては、新型コロナウイルスの影響の受け、年度計画どおりに取組が行えなかった事業等があることから、次のように自己評価を行いました。

## 「法人の評価」欄

→新型コロナウイルスの影響を受け、評価が困難になった項目については、評価しないこととし、「※」と記載する。

## 「法人自己評価」および「実績の現状分析」欄

→新型コロナウイルスの影響を受けた事項については、冒頭に「※」を付して記載する。

なお、年度計画として定めた取組も含めて、新型コロナウイルス対策として実施した内容をまとめ、巻末に掲載しています。

I 教育【教育内容の充実】

1 対話型少人数教育(学習コモンズシステム)の導入・充実

法人の評価	-	理由	-	中期計画 年度計画 連番	1
-------	---	----	---	--------------------	---

【中期目標】 期待する成果

自主的に学び成長する精神を身につけた地域に貢献できるすぐれた人材の育成

【中期計画】

よく聞きよく話し合う教育を目的とした学びの共同体を構築します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
学生と教員による学びの共同体として4つの領域(観光創造・都市文化・コミュニティデザイン・地域経済)の学習コモンズを設け、ゼミを重視したカリキュラムを段階的に導入し、平成29年度に完成	(平成29年度に完了)	(平成29年度に完了)	-	(教育)価値目標1 ・少人数対話型教育により、主体性やコミュニケーション能力など、社会人としての基礎的な力を習得させる

1

I 教育【教育内容の充実】

1 対話型少人数教育(学習コモンズシステム)の導入・充実

法人の評価	A	理由	各会議において情報共有した内容を、各教員がゼミ教育で活用した。	中期計画 年度計画 連番	2
-------	---	----	---------------------------------	--------------------	---

【中期目標】 期待する成果

自主的に学び成長する精神を身につけた地域に貢献できるすぐれた人材の育成

【中期計画】

よく聞きよく話し合う教育を目的とした学びの共同体を構築します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
教員によるコモンズ連絡会議での検討による情報交換及び教育手法への活用	必要に応じてコモンズ連絡会議等を開催し、情報交換及び教育手法への活用を行う。	・基礎ゼミ担当者会議、コモンズゼミ I 担当者会議を実施し、実施内容等の情報共有を行い、各教員がゼミ教育に活用した。	・なし	-

2

I 教育【教育内容の充実】

2 フィールドワークを通じた実践型教育の導入・充実

法人の評価	A
-------	---

理由	協定締結先との情報交換を行い、連携内容の見直しと強化を図った。
----	---------------------------------

中期計画 年度計画 連番	3
--------------------	---

【中期目標】 期待する成果

実践的な課題発見・解決能力を身につけた人材の育成

【中期計画】

平成26年度からの新カリキュラムにおいて必修化したフィールドワークを充実させます。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
地域交流センターの機能強化(市町村との連携協定の締結)	フィールドワークによる学びの質向上に向けての課題を整理したうえで、連携協定先市町村等との協議・情報交流などの連携強化に努める。	・新たな連携協定は結んでいないが、これまでの協定先と必要に応じた情報交流を継続した。	・なし	(教育)価値目標1 ・自治体や企業などと連携したPBL(課題解決型学習)の実施により、実践的な課題解決能力を鍛える

◆実績

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
【評価指標】県内の自治体、地域団体、NPO等連携協定数	指標		18先	19先	20先	21先	22先	23先	新たな協定締結はなかった。
	実績	17先	21先	22先	27先	29先	29先	29先	

3

I 教育【教育内容の充実】

2 フィールドワークを通じた実践型教育の導入・充実

法人の評価	A
-------	---

理由	フィールドワーク受入先と新型コロナウイルス感染対策等について情報共有を行った。
----	---

中期計画 年度計画 連番	4
--------------------	---

【中期目標】 期待する成果

実践的な課題発見・解決能力を身につけた人材の育成

【中期計画】

平成26年度からの新カリキュラムにおいて必修化したフィールドワークを充実させます。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
各コモンズ教員と地域交流センターによるフィールドワーク先の開拓	教員と地域交流室等により、フィールドワーク受入先との連携強化に努める。	・フィールドワーク受入先と新型コロナウイルスの感染対策等の情報共有を行い、フィールドワークを実施した。	・なし	-

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
県内団体等からのフィールドワーク受入先件数	-	64先	96先	114先	149先	202先	204先	県内団体等のフィールドワーク受入先(累計)は順調に増加してきたが、新型コロナウイルスの影響により新規開拓や既存受入先での活動に制限が生じている。

4

I 教育【教育内容の充実】

2 フィールドワークを通じた実践型教育の導入・充実

法人の評価	※
-------	---

理由	新型コロナウイルスの影響により評価困難。
----	----------------------

中期計画 年度計画 連番	5
--------------------	---

【中期目標】 期待する成果

実践的な課題発見・解決能力を身につけた人材の育成

【中期計画】

平成26年度からの新カリキュラムにおいて必修化したフィールドワークを充実させます。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
平成26年度入学生から必修化したフィールドワークを毎年着実に実施	2～4年生でフィールドワークを実施する。	※新型コロナウイルスの影響下で、感染対策を講じた上で実施した。	・なし	-

◆実績

項目	指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
		[評価指標]実習件数	実績	-	214件	948件	2,195件	2,200件	

I 教育【教育内容の充実】

3 リベラルアーツ教育の充実

法人の評価	A
-------	---

理由	リベラルアーツ科目の体系化等について検討を進めた。
----	---------------------------

中期計画 年度計画 連番	6
--------------------	---

【中期目標】 期待する成果

社会人として必要不可欠な幅広い教養、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を身につけた人材の育成

【中期計画】

学生の基礎学力や教養を培うためのリベラルアーツ教育を強化します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
リベラルアーツ教育に係る科目数の増加(古典教育、社会人として必要な政治・経済などの基本的知識、理系科目など)	リベラルアーツ科目の体系化等について検討する。	・感染対策を実施し、クラウド型教育支援サービスを導入して遠隔方式での授業形態や対面と遠隔を織り交ぜた授業形態を通じて、34科目を開講した。 ・カリキュラム改革会議において、リベラルアーツ科目を含めたカリキュラムの体系化を検討した。	・なし	(教育)価値目標1 ・教養科目の構成を見直し、教養教育の体系化を図る

◆実績

項目	指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
		[評価指標]リベラルアーツ科目数	実績	19科目	21科目	25科目	26科目	32科目	

I 教育【教育内容の充実】

3 リベラルアーツ教育の充実

法人の評価	※
-------	---

理由	新型コロナウイルスの影響により評価困難。
----	----------------------

中期計画 年度計画 連番	7
--------------------	---

【中期目標】 期待する成果

社会人として必要不可欠な幅広い教養、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を身につけた人材の育成

【中期計画】

学生の基礎学力や教養を培うためのリベラルアーツ教育を強化します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
学外の著名な有職者・実務者等を外部講師として招聘し、学生の想像力・モチベーションを高める	引き続き、「教養講義Ⅱ（東アジアと日本）」「教養講義Ⅹ（働くこととワークルール）」を実施する。	・「教養講義Ⅹ（働くこととワークルール）」を、対面、遠隔の双方の授業形式で実施した。	※「教養講義Ⅱ（東アジアと日本）」は、新型コロナウイルスの影響で東アジア・サマースクールを中止したことから、不開講となった。	-

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
学外の有識者等招聘数（サマースクールの外部講師）	-	14人	13人	14人	14人	13人	-	※新型コロナウイルスの影響によりサマースクールを中止したため、学外からの招聘はしなかった。

I 教育【教育内容の充実】

3 リベラルアーツ教育の充実

法人の評価	A
-------	---

理由	学生アンケート等の情報をFD研修を通じて情報共有し、授業の質的向上を図った。
----	--

中期計画 年度計画 連番	8
--------------------	---

【中期目標】 期待する成果

社会人として必要不可欠な幅広い教養、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を身につけた人材の育成

【中期計画】

学生の基礎学力や教養を培うためのリベラルアーツ教育を強化します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
学生による授業評価等によるリベラルアーツ教育の効果の把握及び検証	各授業で、学生と教員がともに自己評価を行い、その資料に基づき学期末のFD研修において、教育効果を検証する。	・遠隔授業に関する学生アンケート、教員アンケート、各授業における教員の「自己チェックシート」等を共有し、9月・3月のFD研修において、コロナ禍における授業の質保証について議論し、特に「双方向性の確保」という観点から授業の質的向上を図った。	・なし	(教育)価値目標2 ・組織的なFD活動を推進し、教員の教育力の向上と授業内容・方法の改善を図る

I 教育【教育内容の充実】

4 高度な語学教育の提供

法人の評価	S
-------	---

理由	アドバンス科目を追加開講するとともに、来年度から習熟度別の講義を行うことを決定した。
----	--

中期計画 年度計画 連番	9
--------------------	---

【中期目標】 期待する成果

海外留学や語学力を活用した就職など国際社会で活躍できる人材の育成

【中期計画】

コミュニケーション能力の向上に重点をおいた実践的な語学教育を提供します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
能力別英語クラスの導入と海外留学希望者向け特別英語学習プログラムの導入	英語アドバンスの開講科目数の増加を行い、学生のさらなる英語力の定着・向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>TOEIC・TOEFL対策等のアドバンス科目を4科目追加開講した。</li> <li>令和3年度入学生から、習熟度別の講義を行うことを決定した。</li> </ul>	なし	(教育)価値目標1 ・新たな外国語の語学教育プログラムを実施する

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
英語アドバンスの開講数	2科目	3科目	6科目	6科目	6科目	6科目	10科目	開講科目数を追加した。
英語アドバンスの履修学生数	-	-	-	-	288人	380人	275人	※新型コロナウイルスの影響で、履修者数が減少した。

I 教育【教育内容の充実】

4 高度な語学教育の提供

法人の評価	A
-------	---

理由	実践的な英語力を習得する科目を追加開講した。
----	------------------------

中期計画 年度計画 連番	10
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

海外留学や語学力を活用した就職など国際社会で活躍できる人材の育成

【中期計画】

コミュニケーション能力の向上に重点をおいた実践的な語学教育を提供します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
英語でのコミュニケーション能力を涵養するための発声や話し方を含めた実践的英語教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネイティブ講師による会話中心の英語の授業及び英語アドバンスによる観光英語・ビジネス英語の授業により実践的な英語を身につけさせる。</li> <li>e-caféにネイティブ講師を招き、実践的な英会話等を実施する。</li> <li>英語スピーチコンテストを実施する。</li> <li>TOEFL試験を実施し、成績優秀者の表彰を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光英語・ビジネス英語など実践的な英語力を修得する科目を追加開講した。</li> <li>ネイティブ講師を招き、e-caféを毎週火曜日昼休み時に実施(対面/遠隔)し、実践的な英会話の機会を提供した。</li> <li>英語スピーチコンテストを対面型で実施した。(12月、出場学生5名)</li> </ul>	※新型コロナウイルスの影響によりTOEFL試験の学内実施を見合わせた。	(教育)価値目標1 ・カリキュラム改革の進展に合わせて、ネイティブ教員が担当する英語の授業の充実を図る

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
ネイティブ講師の開講数	4科目	4科目	4科目	4科目	4科目	4科目	4科目	前年度と同数開講した。
英語アドバンスの開講数	2科目	3科目	6科目	6科目	6科目	6科目	10科目	開講科目数を追加した。

I 教育【教育内容の充実】

4 高度な語学教育の提供

法人の評価	※
-------	---

理由	新型コロナウイルスの影響により評価困難。
----	----------------------

中期計画 年度計画 運営	11
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

海外留学や語学力を活用した就職など国際社会で活躍できる人材の育成

【中期計画】

コミュニケーション能力の向上に重点をおいた実践的な語学教育を提供します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
TOEFL受験に対する支援	・TOEFL受験料に対する支援を行う。 ・TOEFL試験の成績優秀者の表彰を行う。	・なし	※新型コロナウイルスの影響によりTOEFL試験の学内実施を見合わせた。	-

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
TOEFL ITP受験者数	-	-	-	199人	195人	210人	-	※新型コロナウイルス感染の影響により、実施を見合わせた。

I 教育【学生への支援】

5 意欲ある学生の確保

法人の評価	A
-------	---

理由	オンラインの活用など、新型コロナウイルス感染対策を考慮しながら実施した。
----	--------------------------------------

中期計画 年度計画 運営	12
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

大学が求める資質を持ち、学ぶ意欲の高い学生を確保することによる学びの質の向上

【中期計画】

入試制度、学生支援制度、広報体制の改善・充実を図ります。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
効率的、効果的な学生募集の方法確立	・効率的、効果的な学生募集に資するため、県内外の高校から依頼に基づき模擬授業を行う。 ・広報戦略にもとづいて意欲的で優れた学生を集めるための広報の具体策を検討する。	※オープンキャンパスをオンラインで実施し、動画による模擬講義(5件)を公開した。(8月) ※予約制の大学説明会で、模擬講義(2回)を実施した。(10月) ・大阪府立今宮高校からの大学見学(模擬講義含む)を受入れた(10月)。 ※オンライン個別相談会を実施した。(10月 11組参加)	※新型コロナウイルスの影響により、高校訪問を中止した。	(法人運営)価値目標4 ・オープンキャンパスや高校訪問など積極かつ効果的な広報活動により、アドミッション・ポリシーにかなう学生を確保する

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
【評価指標】大学PRのための高校への説明件数	指標	65件	68件	71件	74件	77件	80件	※新型コロナウイルスの影響により、高校訪問を中止した。
	実績	56件	71件	86件	77件	65件	53件	
オープンキャンパス参加者数	256組	482組	391組	329組	418組	443組	-	※新型コロナウイルスの影響により、オンライン開催とした。(ホームページアクセス数:2,484件)
大学説明会参加者数	-	-	76組	57組	83組	80組	37組	※新型コロナウイルスの感染対策のため、事前予約制(午前・午後 計37組)で説明会を開催した。

I 教育【学生への支援】

5 意欲ある学生の確保

法人の評価	A
-------	---

理由	入試実施体制を見直すとともに、Web出願システムの導入作業に着手した。
----	-------------------------------------

中期計画 年度計画 進捗	13
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

大学が求める資質を持ち、学ぶ意欲の高い学生を確保することによる学びの質の向上

【中期計画】

入試制度、学生支援制度、広報体制の改善・充実を図ります。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
入試制度の継続的な改善検討(5教科受験入試の導入検討など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度に向けた英語外部試験利用を検討すると同時に抜本的な入試改革案も検討する。</li> <li>調査書の電子化に伴うJAPAN e-Portfolio活用方法を検討する。</li> <li>web出願の導入を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な学生を確保するために、総合型選抜の実施可能性について検討した。</li> <li>入試実施における業務の役割分担の明確化など令和3年度からの実施体制を見直した。</li> <li>令和4年度入試からのWeb出願システムの導入作業に着手した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>JAPAN e-Portfolioの活用について、文部科学省が実施団体の運営許可を取り消したため、検討を取り止めた。</li> </ul>	-

I 教育【学生への支援】

5 意欲ある学生の確保

法人の評価	A
-------	---

理由	大学案内等の発行、オンラインを活用した広報活動を実施した。
----	-------------------------------

中期計画 年度計画 進捗	14
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

大学が求める資質を持ち、学ぶ意欲の高い学生を確保することによる学びの質の向上

【中期計画】

入試制度、学生支援制度、広報体制の改善・充実を図ります。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
入試広報の充実(卒業生との連携による県内外へ向けた大学のPRの強化など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学のことがよく伝わる大学案内や大学広報誌を発行し、県内高校等に配布する。</li> <li>よりのを絞った高校訪問等を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学案内2021を発行した。(6月)</li> <li>※オンラインでのオープンキャンパス(動画コンテンツ、相談コンテンツ等)を実施した。(8月)</li> <li>HP閲覧数:累計2,484アクセス</li> <li>※予約制の大学説明会(対面)を行った。(10月)</li> <li>※オンラインでの個別相談会を行った。(10月)</li> <li>大学広報誌『Narapu』(第5号(10月))を発刊。学生の出身校や連携協定先、自治体等に配布した。(5,000部発行)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※新型コロナウイルスの影響により、高校訪問を中止した。</li> </ul>	(法人運営)価値目標4 ・大学活動の取組・成果の発信を充実するとともに、創立70周年を契機とした戦略的な広報を推進する ・オープンキャンパスや高校訪問など積極かつ効果的な広報活動により、アドミッション・ポリシーにかなう学生を確保する

◆実績

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
[評価指標]大学PRのための高校への説明件数	指標		65件	68件	71件	74件	77件	80件	※新型コロナウイルスの影響により、高校訪問を中止した。
	実績	56件	71件	86件	77件	65件	53件	-	
大学案内発行部数		15,000部	12,000部	12,000部	12,000部	12,000部	12,000部	12,000部	必要部数を作成し、配布した。



I 教育【学生への支援】

5 意欲ある学生の確保

法人の評価	A
-------	---

理由	ホームページやオープンキャンパス等により、学生確保への取り組みを行った。
----	--------------------------------------

中期計画 年度計画 連番	15
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

大学が求める資質を持ち、学ぶ意欲の高い学生を確保することによる学びの質の向上

【中期計画】

入試制度、学生支援制度、広報体制の改善・充実を図ります。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
県内高校生の受験者を増やすための効果的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内高校に対して学長等による高校訪問を実施する。</li> <li>県内高校の訪問や模擬講義を実施すること等により、県内高校生の受験者の増加に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※オンラインで実施したオープンキャンパスにおいて動画による模擬講義(5件)を公開した。(8月)</li> <li>※予約制の大学説明会で模擬講義(2回)を実施した。(10月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※新型コロナウイルスの影響により、高校訪問を中止した</li> </ul>	(法人運営)価値目標4・オープンキャンパスや高校訪問など積極的かつ効果的な広報活動により、アドミッション・ポリシーにかなう学生を確保する

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
大学PRのための県内高校への説明件数	8校	0校	30校	38校	29校	29校	-	※新型コロナウイルスの影響により、高校訪問を中止した。
県内受験者数	138人	125人	108人	106人	143人	80人	73人	受験者総数は減少したが、県内受験者は前年度とほぼ同程度であった。

I 教育【学生への支援】

5 意欲ある学生の確保

法人の評価	A
-------	---

理由	成績優秀者に給付型奨学金を支給し、表彰した。
----	------------------------

中期計画 年度計画 連番	16
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

大学が求める資質を持ち、学ぶ意欲の高い学生を確保することによる学びの質の向上

【中期計画】

入試制度、学生支援制度、広報体制の改善・充実を図ります。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
優秀な成績を修めた学生に対する給付型奨学金制度の構築	給付型奨学金制度を学内に広く周知し、成績優秀者に給付型奨学金を給付する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>2～4年生の対象者を拡大した。上位2名→上位3名</li> <li>成績優秀者14名に給付型奨学金を支給した。1年生 3人、2年生 3人、3年生 4人、4年生 4人</li> <li>大学ホームページ、学内Webで周知を行うとともに、学業優秀学生表彰式を行った。</li> </ul>	なし	-

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
奈良県立大学給付奨学金給付学生数	-	5人	9人	9人	10人	9人	14人	対象者を拡大したため、表彰者が増加した。

I 教育【学生への支援】

6 教育内容の評価(教員の評価とカリキュラムの評価)

法人の評価	A	理由	学生アンケート等の情報をFD研修を通じて情報共有し、授業の質的向上を図った。	中期計画 年度計画 連番	17
-------	---	----	--	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

学生の授業に対する満足度の向上、教育内容のレベルアップ

【中期計画】

各科目内容の充実を図るため、教員の教育力や教育方法の継続的な改善・向上に努めます。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
学生の授業評価を活用した、授業の質の向上	各授業で、学生と教員がともに自己評価を行い、その資料に基づき学期末のFD研修において、授業の質的向上を図る。	・遠隔授業に関する学生アンケート、教員アンケート、各授業における教員の「自己チェックシート」等を共有し、9月・3月のFD研修において、コロナ禍における授業の質保証について議論し、特に「双方向性の確保」という観点から授業の質的向上を図った。	・なし	(教育)価値目標2 ・組織的なFD活動を推進し、教員の教育力の向上と授業内容・方法の改善を図る

I 教育【学生への支援】

6 教育内容の評価(教員の評価とカリキュラムの評価)

法人の評価	A	理由	各会議において情報共有した内容を、各教員がゼミ教育で活用した。	中期計画 年度計画 連番	18
-------	---	----	---------------------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

学生の授業に対する満足度の向上、教育内容のレベルアップ

【中期計画】

各科目内容の充実を図るため、教員の教育力や教育方法の継続的な改善・向上に努めます。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
コモンズ連絡会議を開催し、教育内容の充実を継続的に検討	必要に応じてコモンズ連絡会議等を開催し、情報交換及びゼミ選択等の教育手法への活用を行う。(2の再掲)	・基礎ゼミ担当者会議、コモンズゼミI担当者会議を実施し、実施内容等の情報共有を行い、各教員がゼミ教育に活用した。	・なし	-

I 教育【学生への支援】

6 教育内容の評価(教員の評価とカリキュラムの評価)

法人の評価	A
-------	---

理由	カリキュラムの体系化について、継続して検討した。
----	--------------------------

中期計画 年度計画 連番	19
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

学生の授業に対する満足度の向上、教育内容のレベルアップ

【中期計画】

各科目内容の充実を図るため、教員の教育力や教育方法の継続的な改善・向上に努めます。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
学生の履修状況、授業評価を考慮したカリキュラムの構築	教務委員会において学生の履修状況や、授業評価を元に令和3年度のカリキュラムについて検討する。	・前期と後期の2回、遠隔授業についてのアンケートを行い、遠隔授業の課題や良い点の分析を行った。 ・カリキュラム改革会議において、カリキュラムの体系化について検討した。	・なし	-

I 教育【学生への支援】

6 教育内容の評価(教員の評価とカリキュラムの評価)

法人の評価	A
-------	---

理由	学生アンケート等の情報をFD研修を通じて情報共有し、授業の質的向上を図った。
----	--

中期計画 年度計画 連番	20
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

学生の授業に対する満足度の向上、教育内容のレベルアップ

【中期計画】

各科目内容の充実を図るため、教員の教育力や教育方法の継続的な改善・向上に努めます。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
FD(Faculty Development)研修会の実施、任期制適用教員の評価制度の実施による教育力の向上	学期終了ごとにFD研修会を開いて、令和2年度以降の新しい取組について検証し、改善点等を共有する。	・遠隔授業に関する学生アンケート、教員アンケート、各授業における教員の「自己チェックシート」等を共有し、9月・3月のFD研修において、コロナ禍における授業の質保証について議論し、特に「双方向性の確保」という観点から授業の質的向上を図った。	・なし	(教育)価値目標2 ・組織的なFD活動を推進し、教員の教育力の向上と授業内容・方法の改善を図る

FD(Faculty Development): 教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組の総称。

その意味するところは極めて広範にわたるが、具体的な例としては、教員相互の授業参観の実施、授業方法についての研究会の開催、新任教員のための研修会の開催などを挙げることができる。(文部科学省ホームページより)

I 教育【学生への支援】

7 学生のキャリアサポートの充実

法人の評価	A	理由	専任教員によるキャリア教育科目を開講した。	中期計画 年度計画 連番	21
-------	---	----	-----------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

高い就職率の維持、卒業後も含めた就職支援体制の確立

【中期計画】

卒業後のフォローアップも含めた就職支援体制を整備します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
初学年次からのキャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリアデザインⅠ、キャリアデザインⅡを開講する。</li> <li>キャリア教育の専任教員による、キャリア教育の体系化に向けての検討を進める。</li> <li>3年生対象の「キャリア形成講座・就職対策講座」を実施する。</li> <li>日本労働組合総連合会 奈良県連合会による寄付講座として、「教養講義X（働くこととワークルール）」を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア教育の専任教員を採用し、キャリアデザインⅠ、キャリアデザインⅡを開講した。</li> <li>キャリア教育の体系化に向けた検討を行った。</li> <li>3年生対象の「キャリア形成講座・就職対策講座」を前学期4回、後学期13回、追加講座4回 合計21回実施した。</li> <li>日本労働組合総連合会 奈良県連合会による寄付講座「教養講義X（働くこととワークルール）」を実施した。</li> </ul>	なし	(教育)価値目標3 ・キャリア教育を充実し体系化することにより、特色あるカリキュラムを構成する

◆実績

項目	指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
		【評価指標】就職率	実績	100%	97.7%	97.3%	94.4%	96.6%	
キャリアデザインⅠ履修者数		-	-	-	-	124名	136名	123名	例年と同程度の学生が履修した。
キャリアデザインⅡ履修者数		-	-	-	-	52名	56名	60名	例年と同程度の学生が履修した。

I 教育【学生への支援】

7 学生のキャリアサポートの充実

法人の評価	A	理由	新型コロナウイルスによる就職活動の変化に対応した学生サポートを行った。	中期計画 年度計画 連番	22
-------	---	----	-------------------------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

高い就職率の維持、卒業後も含めた就職支援体制の確立

【中期計画】

卒業後のフォローアップも含めた就職支援体制を整備します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
就活生に対する細やかなサポートの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>就活相談、応募書類作成や面接サポート等就活生に対するサポートを実施する。</li> <li>就職状況調査を実施し、担当教員との情報共有をはかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※新型コロナウイルスによる就職活動の変化に対応した就活相談、応募書類作成やWeb面接サポート等、就活生に対するサポートを対面・遠隔で実施した。</li> <li>就職状況調査を7月・10月・1月・3月に実施し、調査結果をゼミ担当教員と情報共有した。</li> </ul>	なし	-

I 教育【学生への支援】

7 学生のキャリアサポートの充実

法人の評価	A	理由	ゼミ担当教員、キャリア・サポート室が連携して就職サポートを実施した。	中期計画 年度計画 連番	23
-------	---	----	------------------------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

高い就職率の維持、卒業後も含めた就職支援体制の確立

【中期計画】

卒業後のフォローアップも含めた就職支援体制を整備します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
担当教員とキャリアサポート室が一体となって就職サポートを実施	4年生ゼミ担当教員とキャリア・サポート室が一体となって、未内定者等の把握とそれらの学生に向けた就職活動の進捗に合わせた支援活動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>4年生ゼミ担当教員とキャリア・サポート室が連携して、就職内定状況を把握した。</li> <li>ゼミ担当教員とキャリア・サポート室が情報交換を行い、学生と企業のマッチングを行い就職活動のサポートを実施した。</li> <li>Facebookなどを活用し、学生の就職サポートになる各種情報を発信した。</li> </ul>	・なし	-

I 教育【学生への支援】

7 学生のキャリアサポートの充実

法人の評価	A	理由	学生の就職活動をよりフォローするために、1月にも調査を追加実施した。	中期計画 年度計画 連番	24
-------	---	----	------------------------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

高い就職率の維持、卒業後も含めた就職支援体制の確立

【中期計画】

卒業後のフォローアップも含めた就職支援体制を整備します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
担当教員による学生の就職活動状況の逐次把握	就職情報把握管理スケジュール(7月・10月・3月)に沿って状況を把握する。	・就職活動状況の調査を7月・10月・1月・3月に実施し、調査結果を担当教員と情報共有した。	・なし	-

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
〔評価指標〕就職率	指標	全国平均より高い就職率を維持						※新型コロナウイルスの影響により、就職活動の環境変化や希望職種を変更する学生がいたが、ほぼ全国平均(96.0%)と同程度の就職率であった。
	実績	100%	97.7%	97.3%	94.4%	96.6%	97.1%	

I 教育【学生への支援】

7 学生のキャリアサポートの充実

法人の評価	A	理由	就職サポートに関する学生アンケートを実施し、支援を充実させた。	中期計画 年度計画 連番	25
-------	---	----	---------------------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

高い就職率の維持、卒業後も含めた就職支援体制の確立

【中期計画】

卒業後のフォローアップも含めた就職支援体制を整備します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
就職サポートに関する学生の要望の把握	学生アンケートを実施し、就職サポートに関する学生の要望を把握する。	・就職サポートに関する学生アンケートで要望のあったオンラインによる各種講座・説明会・動画配信、インターンシップ等の情報提供など、支援を充実させた。	・なし	-

I 教育【学生への支援】

7 学生のキャリアサポートの充実

法人の評価	A	理由	卒業生アンケートを実施し、就活生・再就職活動者への支援に役立てた。	中期計画 年度計画 連番	26
-------	---	----	-----------------------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

高い就職率の維持、卒業後も含めた就職支援体制の確立

【中期計画】

卒業後のフォローアップも含めた就職支援体制を整備します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
アンケートによる卒業生及び就職先への離職率等の追跡調査の実施	・離職率等の卒業生追跡調査を実施する。 ・卒業生追跡調査をもとに退職理由を把握し、在学生・卒業生への就職活動・再就職活動の支援に役立てる。	・卒業1年目の卒業生に加えて、新たに卒業3年目の卒業生を対象に卒業生キャリアアンケートを実施した。 ・アンケート内容をまとめて在学生に提供するなど、就職活動支援に活用するとともに、卒業生の就職後のキャリア支援のためにも活用した。	・なし	-

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
卒業生キャリアアンケート回収率	-	-	-	-	23.8%	14.0%	28.3%	回答者が大幅に増加し、アンケート回収率は上昇した。 R2 28.3%(84/308人)、H31 14%(19/136人)、H30 23.8%(36/151人)

I 教育【学生への支援】

7 学生のキャリアサポートの充実

法人の評価	A
-------	---

理由	相談員に代わって、キャリア・サポート室で既卒者からの相談に対応した。
----	------------------------------------

中期計画 年度計画 連番	27
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

高い就職率の維持、卒業後も含めた就職支援体制の確立

【中期計画】

卒業後のフォローアップも含めた就職支援体制を整備します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
リカレント教育センターの相談員の配備	・月1回、リカレント教育センターの相談員を配置する。 ・既卒者の再就職活動の支援を行う。	・キャリア・サポート室で、既卒者からの就職先での悩みや再就職等に関する相談対応を実施した。(54件)	・リカレントセンターの相談員が体調不良等で勤務出来なかった。	-

◆実績

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
【評価指標】リカレント相談件数(リカレント相談員への相談)	指標		実施に向けて検討・準備					10件	リカレント相談員が勤務できなかったが、キャリア・サポート室で既卒者の相談支援を行った。(54件)
	実績	実績なし	-	-	-	4件	4件	-	

I 教育【学生への支援】

7 学生のキャリアサポートの充実

法人の評価	A
-------	---

理由	卒業生およびその就職先と連携を図りながら、就職対策講座を実施した。
----	-----------------------------------

中期計画 年度計画 連番	28
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

高い就職率の維持、卒業後も含めた就職支援体制の確立

【中期計画】

卒業後のフォローアップも含めた就職支援体制を整備します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
卒業生の就職先との連携	卒業生の就職先企業を訪問し採用基準等を把握する。それらの企業の中から「就職対策講座」等の業界理解講座に、外部講師として卒業生を継続的に招聘する。	・卒業生の就職先と情報交換するなど、卒業生の状況を把握するとともに、求人相談やキャリア育成プログラムの講師依頼等を実施した。 ・3年生対象「就職対策講座」での業界理解部分にゲストスピーカーとして卒業生を招聘した。	・なし	-

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
就職対策講座における卒業生招聘件数	-	-	-	-	6社	5社	4社	引き続き、卒業生を招聘した。

I 教育【学生への支援】

7 学生のキャリアサポートの充実

法人の評価	A	理由	各団体との連携により求人情報の提供や職種研究会を開催した。	中期計画 年度計画 連携	29
-------	---	----	-------------------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

高い就職率の維持、卒業後も含めた就職支援体制の確立

【中期計画】

卒業後のフォローアップも含めた就職支援体制を整備します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
ハローワーク、ジョブカフェなどの就職支援団体との連携や県内企業に県立大学学生をPR	・ハローワークやジョブカフェと連携し採用情報を増やすことで、就職相談等の支援内容を充実させる。 ・企業・大学交流会等のイベントに参加し奈良県立大学をPRする。 ・県内企業でのインターンシップを実施する。	・ハローワーク求人情報や企業説明会、就職セミナーの紹介をした。 ・企業・大学交流会等のイベントに参加し奈良県立大学をPRした。 ・奈良しごとセンターと協力し「学内業界・業種研究会」を開催した。(11月 参加企業 11社、参加学生 36名)	※新型コロナウイルスの影響により、奈良県大学連合インターンシップ、本学独自型インターンシップを中止し、県内企業・団体でのインターンシップが実施できなかった。	(教育)価値目標3 ・インターンシップの充実により、多様な就業体験の機会を提供するなど就職支援の強化を図る

◆実績

項目	指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
		[評価指標]就職率	100%	97.7%	97.3%	94.4%	96.6%	97.1%	
奈良県大学連合インターンシップ・本学独自型インターンシップ参加学生数	実績	-	-	-	-	27名	47名	-	※新型コロナウイルスの影響により、各インターンシップを中止した。

I 教育【学生への支援】

7 学生のキャリアサポートの充実

法人の評価	A	理由	就職情報の提供、学内業界業種研究会を実施した。	中期計画 年度計画 連携	30
-------	---	----	-------------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

高い就職率の維持、卒業後も含めた就職支援体制の確立

【中期計画】

卒業後のフォローアップも含めた就職支援体制を整備します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
就職セミナーの実施、就職相談、就職情報の提供など学生の就職支援を継続的に実施	・就職セミナーの実施、就職相談、就職情報の提供など学生の就職支援を継続的に実施する。	・就職関連情報(求人情報、説明会、セミナー等)をクラウド型教育支援サービスやSNSを利用し周知した。 ・就活生に対する個別カウンセリング・指導を継続的に実施した。 ・「学内業界・業種研究会」を開催した。(11月 参加企業 11社、参加学生 36名)	なし	-

◆実績

項目	指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
		[評価指標]就職率	100%	97.7%	97.3%	94.4%	96.6%	97.1%	
就職対策講座開講数	実績	-	-	-	-	18回	22回	21回	予定していた回数の講座を実施した。



I 教育【学生への支援】

7 学生のキャリアサポートの充実

法人の評価	A	理由	卒業生キャリアアンケートを実施し、就職先企業の情報をまとめて学生に提供した。	中期計画 年度計画 連番	31
-------	---	----	--	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

高い就職率の維持、卒業後も含めた就職支援体制の確立

【中期計画】

卒業後のフォローアップも含めた就職支援体制を整備します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
就職先の質の検証(若者の「使い捨て」が疑われる企業等の排除)	離職率等の卒業生追跡調査で、就職先企業の情報を収集し、学生に提供する。	・卒業生キャリアアンケートを実施し、勤務企業の情報収集を行った。 ・ブラック企業に関する資料を配架した。 ・就職対策講座やクラウド型学習支援サービスを通じて、問題のある企業を事前に見分ける方法やそのような企業に就職した場合の対処方法について情報提供を行った。	・なし	-

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
卒業生キャリアアンケート回収率	-	-	-	-	23.8%	14.0%	28.3%	回答者が大幅に増加し、アンケート回収率は上昇した。 R2 28.3%(84/308人)、H31 14%(19/136人)、H30 23.8%(36/151人)

I 教育【学生への支援】

8 学生生活へのサポート

法人の評価	A	理由	メンタルカウンセリングを月2回実施した。	中期計画 年度計画 連番	32
-------	---	----	----------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

学生生活へのサポートを充実し、学生の利便性を向上させるとともに留年者及び中退者の減少を目指す

【中期計画】

メンタルヘルス相談等を充実し、中退率及び留年率の改善を図ります。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
メンタルヘルス相談など、学生相談体制の充実	メンタルカウンセリングを月2回実施する。	※遠隔での相談体制を整備し、メンタルカウンセリングを月2回実施した。(相談 4件)	・なし	(教育)価値目標3 ・メンタルヘルスカounselingを充実させ、学生が相談しやすい環境づくりを行う

◆実績

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
〔評価指標〕中退率	指標		0.7%	0.6%	0.5%	0.4%	0.2%	0.0%	中退率は前年度と同じ0.6%であった。
	実績	1.1%	0.5%	0.5%	0.9%	0.7%	0.6%	0.6%	
〔評価指標〕留年率	指標		2.0%	1.6%	1.2%	0.8%	0.4%	0.0%	留年率は前年度を下回った。
	実績	3.7%	3.8%	2.6%	2.2%	2.3%	2.8%	2.1%	

I 教育【学生への支援】

8 学生生活へのサポート

法人の評価	S
-------	---

理由	年度計画の内容に加え、クラウド型学習支援サービスを導入して遠隔授業に対応した。
----	---

中期計画 年度計画 連携	33
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

学生生活へのサポートを充実し、学生の利便性を向上させるとともに留年者及び中退者の減少を目指す

【中期計画】

メンタルヘルス相談等を充実し、中退率及び留年率の改善を図ります。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
学務システムを導入し、学生へのきめ細やかなサービス提供を充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度入学生より、成績評価を「秀」～「不可」の5段階とするとともに、GPA制度を導入する。</li> <li>平成30年度に導入した学務システムについて成績のWeb確認等の機能の拡張について検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遠隔授業に対応するため、4月に急遽、クラウド型教育支援サービスmanabaを導入した。</li> <li>令和2年度入学生から、成績の5段階評価およびGPA制度の導入を行った。</li> <li>学務システムを改修し、成績のWeb確認機能およびシラバスのWeb化を行い、学生・教員の利便性の向上を図った。</li> </ul>	なし	(教育)価値目標3 ・履修相談、成績問合せ、ゼミ教員による相談、学習管理システムのポートフォリオ機能を活用することなどにより、相談体制の充実を図る

I 教育【学生への支援】

8 学生生活へのサポート

法人の評価	A
-------	---

理由	オフィスアワーやクラウド型学習支援サービスを通じて学生との意思疎通を図った。
----	--

中期計画 年度計画 連携	34
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

学生生活へのサポートを充実し、学生の利便性を向上させるとともに留年者及び中退者の減少を目指す

【中期計画】

メンタルヘルス相談等を充実し、中退率及び留年率の改善を図ります。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
学生と教職員の交流の場やアンケートを実施することにより、学生の意見を積極的に聴取	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員が学生の質問や相談を受けるオフィスアワーを実施する。</li> <li>各講義において、コメントペーパー等により授業内容や教授方法について、適宜学生との意思疎通を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学内Webや説明会などでオフィスアワーを周知した。</li> <li>※新型コロナウイルスの影響により、教員が学生の質問や相談を受けるオフィスアワーを、時間帯は設定せず、メールでの問い合わせに応じる形で実施した。</li> <li>※新型コロナウイルスの影響で遠隔授業が増えたことにより、コメントペーパーに代えてクラウド型教育支援サービスを活用して学生との意思疎通を行った。</li> </ul>	なし	(教育)価値目標3 ・履修相談、成績問合せ、ゼミ教員による相談、学習管理システムのポートフォリオ機能を活用することなどにより、相談体制の充実を図る

I 教育【学生への支援】

8 学生生活へのサポート

法人の評価	A
-------	---

理由	新たに整備したcommons棟に自習室など学生共用スペースを設置した。
----	-------------------------------------

中期計画 年度計画 連番	35
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

学生生活へのサポートを充実し、学生の利便性を向上させるとともに留年者及び中退者の減少を目指す

【中期計画】

メンタルヘルス相談等を充実し、中退率及び留年率の改善を図ります。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
学生共用スペースの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生共用スペースとして食堂及び自習室、ラーニングcommonsを提供する。</li> <li>令和2年度後学期より使用するcommons棟にも学生共用スペースを設置する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>後学期より使用を開始したcommons棟に、自習室、学生会室、クラブ部室及び学生が自由に使用することができるオープンスペースを設置した。</li> <li>※新型コロナウイルスに対応するため、据置型非接触体温計、消毒液、アクリル板の設置等構内の整備を行い感染防止対策を徹底した。</li> <li>※構内で遠隔授業を受講できるように構内全域のwi-fi環境、自習室プリンターの整備を行った。</li> <li>地域交流棟及びcommons棟に寛げる家具を配置するとともに、地域交流棟屋上庭園の整備を行った。</li> </ul>	なし	(教育)価値目標3 ・学内ICT環境や図書館機能の充実により、学生が学びやすい環境の整備を推進する

I 教育【教育を支える施設整備】

9 学生の学習意欲及び教育効果の向上を図るキャンパス整備

法人の評価	A
-------	---

理由	後学期からcommons棟の使用を開始した。
----	------------------------

中期計画 年度計画 連番	36
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

教員と学生が共に学べるキャンパスの整備

【中期計画】

学生の学習環境を改善するための施設整備を図ります。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
対話型少人数教育(学習commonsシステム)に対応した教室の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>県の施設整備計画に基づき、commons棟の教室の整備をすすめる。</li> <li>令和2年度後学期よりcommons棟教室を使用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な備品類を配置し、後学期よりcommons棟の使用を開始した。</li> </ul>	なし	(教育)価値目標3 県と連携して、新たな大学整備計画に基づくキャンパス整備を推進する

I 教育【教育を支える施設整備】

9 学生の学習意欲及び教育効果の向上を図るキャンパス整備

法人の評価	A
-------	---

理由	施設整備計画の見直しの中で、図書館の再整備についても検討した。
----	---------------------------------

中期計画 年度計画 連番	37
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

教員と学生が共に学べるキャンパスの整備

【中期計画】

学生の学習環境を改善するための施設整備を図ります。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
ラーニング commons の整備	施設整備基本計画の見直しの中で、ラーニング commons の整備について検討する。	・施設整備計画の見直しの中で、県担当課とともに、ラーニング commons の機能を含んだ図書館再整備の検討を行った。	・なし	(教育) 価値目標3 ・学内ICT環境や図書館機能の充実により、学生が学びやすい環境の整備を推進する

I 教育【教育を支える施設整備】

10 図書館機能の充実・強化

法人の評価	A
-------	---

理由	新規の受入図書により、蔵書が充実した。
----	---------------------

中期計画 年度計画 連番	38
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

高等教育機関及び地域の知の創造拠点として、地域創造学研究に資する蔵書を備え、地域住民に開かれたメディアセンターを整備

【中期計画】

図書館における地域創造学研究に資する蔵書の増加及び地域住民の利用を促進します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
地域創造学関連蔵書の充実	地域創造学関連蔵書の充実を図る。	・購入、寄贈を含めて新たに3,148冊の図書を受け入れた。	・なし	(教育) 価値目標3 ・学内ICT環境や図書館機能の充実により、学生が学びやすい環境の整備を推進する

◆実績

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
		[評価指標]蔵書数	指標		104,600冊	107,500冊	110,400冊	113,300冊	
	実績	107,360冊	109,432冊	111,017冊	112,788冊	114,140冊	114,869冊	118,017冊	

I 教育【教育を支える施設整備】

10 図書館機能の充実・強化

法人の評価	A
-------	---

理由	施設整備計画の見直しの中で、図書館の再整備についても検討した。
----	---------------------------------

中期計画 年度計画 連番	39
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

高等教育機関及び地域の知の創造拠点として、地域創造学研究に資する蔵書を備え、地域住民に開かれたメディアセンターを整備

【中期計画】

図書館における地域創造学研究に資する蔵書の増加及び地域住民の利用を促進します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
地域創造データベースの構築に対応できる環境の整備	施設整備基本計画の見直しの中で、ラーニングコモンズの整備について検討する。(37の再掲)	・施設整備計画の見直しの中で、県担当課とともに、ラーニングコモンズの機能を含んだ図書館再整備の検討を行った。	・なし	(教育)価値目標3 ・学内ICT環境や図書館機能の充実により、学生が学びやすい環境の整備を推進する

I 教育【教育を支える施設整備】

10 図書館機能の充実・強化

法人の評価	A
-------	---

理由	国立国会図書館の資料を活用したゼミ教育等を行った。
----	---------------------------

中期計画 年度計画 連番	40
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

高等教育機関及び地域の知の創造拠点として、地域創造学研究に資する蔵書を備え、地域住民に開かれたメディアセンターを整備

【中期計画】

図書館における地域創造学研究に資する蔵書の増加及び地域住民の利用を促進します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
メディアセンターのコンテンツの充実	国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の活用を推進する。	・サービスを教員に案内し、本学図書館実収蔵資料のゼミ教育等における活用を推進した。	・なし	-

I 教育【教育を支える施設整備】

10 図書館機能の充実・強化

法人の評価	A	理由	施設整備計画の見直しの中で、図書館の再整備についても検討した。	中期計画 年度計画 連番	41
-------	---	----	---------------------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

高等教育機関及び地域の知の創造拠点として、地域創造学研究に資する蔵書を備え、地域住民に開かれたメディアセンターを整備

【中期計画】

図書館における地域創造学研究に資する蔵書の増加及び地域住民の利用を促進します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
ラーニング・commonsの整備	施設整備基本計画の見直しの中で、ラーニングcommonsの整備について検討する。(37の再掲)	・施設整備計画の見直しの中で、県担当課とともに、ラーニングcommonsの機能を含んだ図書館再整備の検討を行った。	・なし	(教育)価値目標3 ・学内ICT環境や図書館機能の充実により、学生が学びやすい環境の整備を推進する

I 教育【教育を支える施設整備】

10 図書館機能の充実・強化

法人の評価	※	理由	新型コロナウイルスの影響により評価困難。	中期計画 年度計画 連番	42
-------	---	----	----------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

高等教育機関及び地域の知の創造拠点として、地域創造学研究に資する蔵書を備え、地域住民に開かれたメディアセンターを整備

【中期計画】

図書館における地域創造学研究に資する蔵書の増加及び地域住民の利用を促進します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
図書貸出冊数の増	蔵書の充実に努め、図書貸出冊数の増加を図る。	※郵送貸出対応を開始し、学生等の利用を促した。 図書貸出冊数2,565冊（うち、郵送貸出114冊） ・司書によるテーマ図書展示を開催した。	※遠隔授業となり、授業での図書館資料の利用が激減したことにより、貸出冊数は減少した。	(教育)価値目標3 ・学内ICT環境や図書館機能の充実により、学生が学びやすい環境の整備を推進する

◆実績

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
〔評価指標〕図書館利用人数	指標		16,300人	17,300人	18,300人	19,300人	20,300人	21,300人	※新型コロナウイルスの影響により、学生の登校自粛や学外者の学内立ち入り制限を行ったため、利用人数は減少した。
	実績	18,701人	18,966人	18,108人	19,184人	21,711人	18,934人	6,301人	
〔評価指標〕図書館貸出冊数	指標		5,900冊	6,100冊	6,200冊	6,400冊	6,500冊	6,700冊	※新型コロナウイルスの影響により、学生の登校自粛や学外者の学内立ち入り制限を行ったため、貸出冊数は減少した。
	実績	6,643冊	7,776冊	7,527冊	11,606冊	14,094冊	11,447冊	2,565冊	

II 研究

1 研究の適切な成果評価

法人の評価	S
-------	---

理由	共同研究員制度の導入など、研究支援の成果が現れ、延べ採択件数が増加した。
----	--------------------------------------

中期計画 年度計画 連番	43
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

社会のニーズに対応した研究活動を通じて、広く社会に貢献する

【中期計画】

科学研究費補助金をはじめとする大学内外の助成金に採択される研究活動を行います。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
社会のニーズに対応した研究活動(理論的研究を含む)を行うため科学研究費補助金の積極的な確保に努める	科学研究費補助金採択者へのインセンティブ付与制度を実施する。	・科学研究費補助金採択者(のべ24人)へインセンティブ(間接経費の20%)を付与した。	・なし	(研究)価値目標2 ・科学研究費補助金等の外部資金獲得を推進するため、URAを配置し情報収集及び申請支援の機能を充実する

◆実績

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
【評価指標】科学研究費補助金の採択件数	指標		10件	10件	11件	11件	12件	12件	共同研究員制度の導入など、研究支援の成果が現れ、延べ採択件数が増加した。
	実績	21件	25件	21件	16件	12件	16件	24件	

II 研究

1 研究の適切な成果評価

法人の評価	A
-------	---

理由	地域創造研究センターを開設し、URAの採用を決定した。
----	-----------------------------

中期計画 年度計画 連番	44
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

社会のニーズに対応した研究活動を通じて、広く社会に貢献する

【中期計画】

科学研究費補助金をはじめとする大学内外の助成金に採択される研究活動を行います。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
科学研究費補助金申請の支援体制を確立	・科学研究費補助金の申請支援のため、教員に対する科学研究費補助金申請講習会を実施する。 ・URAの採用について検討する。	・地域創造研究センターを開設した。 ・研究支援等のため、令和3年4月よりURA(1名)を採用することを決定した。	※新型コロナウイルスの影響により、科学研究費補助金申請講習会は開催しなかった。	(研究)価値目標2 ・科学研究費補助金等の外部資金獲得を推進するため、URAを配置し情報収集及び申請支援の機能を充実する

◆実績

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
【評価指標】科学研究費補助金の採択件数	指標		10件	10件	11件	11件	12件	12件	共同研究員制度の導入など、研究支援の成果が現れ、延べ採択件数が増加した。
	実績	21件	25件	21件	16件	12件	16件	24件	

II 研究

1 研究の適切な成果評価

法人の評価	S
-------	---

理由	制度化後2年目で、25名の共同研究員を受け入れた。
----	---------------------------

中期計画 年度計画 連番	45
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

社会のニーズに対応した研究活動を通じて、広く社会に貢献する

【中期計画】

科学研究費補助金をはじめとする大学内外の助成金に採択される研究活動を行います。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
優秀な研究者を客員研究員として招聘	<ul style="list-style-type: none"> <li>共同研究員制度を実施する。</li> <li>ユーラシア研究センターにおいて開催する研究会に必要な客員研究員を委嘱する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>共同研究員(15組、25名)を受入れた。</li> <li>ユーラシア研究センター主催の4研究会の客員研究員(21名)を委嘱した。</li> <li>新たに特任教授1名の採用を決定した。</li> </ul>	なし	(研究)価値目標1 <ul style="list-style-type: none"> <li>共同研究や受託研究を推進し、研究力の向上を図る</li> <li>ユーラシア研究センターにおいて、奈良とユーラシアとのつながりについての調査研究を行い、その成果について広く発信する</li> </ul>

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
共同研究員の受入れおよび客員研究員の委嘱数	-	-	16人	17人	20人	30人	46人	共同研究員の受入れが増加した。

45

II 研究

1 研究の適切な成果評価

法人の評価	-
-------	---

理由	-
----	---

中期計画 年度計画 連番	46
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

社会のニーズに対応した研究活動を通じて、広く社会に貢献する

【中期計画】

科学研究費補助金をはじめとする大学内外の助成金に採択される研究活動を行います。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
フェローシップの検討	(平成30年度に完了)	(平成30年度に完了)	-	-

46



II 研究

1 研究の適切な成果評価

法人の評価	-
-------	---

理由	-
----	---

中期計画 年度計画 連番	47
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

社会のニーズに対応した研究活動を通じて、広く社会に貢献する

【中期計画】

科学研究費補助金をはじめとする大学内外の助成金に採択される研究活動を行います。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
優れた外部研究者に対する表彰制度の創設の検討	(平成30年度に完了)	(平成30年度に完了)	-	-

47

II 研究

2 課題解決に奇与する研究活動の推進

法人の評価	S
-------	---

理由	学長裁量経費による研究支援を実施した。
----	---------------------

中期計画 年度計画 連番	48
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

研究成果を社会に発表し、社会の問題解決に貢献する

【中期計画】

研究成果を著書、論文や学会発表、また各種報告書や寄稿などによって発表し、広く社会に貢献します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
優秀な研究に対する支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>学長裁量による競争的研究支援を実施する。</li> <li>共同研究員制度を実施する(45の一部再掲)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学長裁量経費を活用した「新型コロナウイルス関連研究」を学内募集し、2件に対して研究支援を実施した。</li> <li>共同研究員(15組、25名)を受入れた。</li> </ul>	なし	(研究)価値目標1 ・地域の課題解決につながる研究を推進する ・共同研究や受託研究を推進し、研究力の向上を図る

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
学長裁量経費助成件数	-	2件	1件	1件	1件	-	2件	学内募集を行い、2件を採択した。

48

II 研究

2 課題解決に奇与する研究活動の推進

法人の評価	A
-------	---

理由	奈良県立大学リポジトリへの論文等の登録が進んだ。
----	--------------------------

中期計画 年度計画 連番	49
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

研究成果を社会に発表し、社会の問題解決に貢献する

【中期計画】

研究成果を著書、論文や学会発表、また各種報告書や寄稿などによって発表し、広く社会に貢献します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
高度な研究成果を広く社会に情報発信	研究季報（年4回）の発行、研究論文の奈良県立大学リポジトリ等への掲載、県民向けの講座等の開催により、研究成果を広く地域に情報発信する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究季報を4巻発行した。第30巻第4号、第31巻第1号～第3号</li> <li>奈良県立大学リポジトリに、研究季報の論文等を50件追加登録した。</li> <li>奈良地域経済研究ユニットが「コロナ禍における奈良県経済の課題と展望」をテーマに、学外者・学生を含めたフォーラムを開催し、研究を通じた教育を実践した。（2月 参加者31名）</li> </ul>	なし	(研究)価値目標1 「奈良県立大学リポジトリ」の活用等により、研究成果の蓄積と発信を進める

◆実績

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
		【評価指標】オンラインデータ数	指標	—	80件	140件	200件	270件	
	実績		238件	361件	435件	1,490件	1,543件	1,593件	

※地域創造データベース（平成29年度以前）、奈良県立大学リポジトリ（平成30年度以降）への登録件数

II 研究

2 課題解決に奇与する研究活動の推進

法人の評価	S
-------	---

理由	地域創造研究センターを設置し、学外の研究者との共同研究を開始した。
----	-----------------------------------

中期計画 年度計画 連番	50
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

研究成果を社会に発表し、社会の問題解決に貢献する

【中期計画】

研究成果を著書、論文や学会発表、また各種報告書や寄稿などによって発表し、広く社会に貢献します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
問題解決に必要な研究所を大学内に設置	地域創造研究センターを設置し、地域課題の研究を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域創造研究センターを開設した。（6月）</li> <li>地域創造研究センターのホームページの開設、リフレットの県内外への配布により、県内のシンクタンクとしての広報を行った。</li> <li>地域創造研究センターに、それぞれ独自のテーマを掲げる11の研究ユニットを立ち上げ、学外の研究者との共同研究を開始した。</li> <li>奈良地域経済研究ユニットが「コロナ禍における奈良県経済の課題と展望」をテーマに、学外者・学生を含めたフォーラムを開催し、研究を通じた教育を実践した。（2月 参加者31名）</li> </ul>	なし	(研究)価値目標1 ・地域の課題解決につながる研究を推進する ・共同研究や受託研究を推進し、研究力の向上を図る  (地域連携)価値目標2 ・地域創造研究センターの体制を充実し、地域のシンクタンクとしての機能を強化する ・地域創造研究センターのシーズ及び成果を積極的に発信し、地域連携に繋がる取組を促進する

II 研究

3 奈良とユーラシアに関する研究活動の推進

法人の評価	A
-------	---

理由	研究会の開催など、奈良とユーラシアに関する研究活動を実施した。
----	---------------------------------

中期計画 年度計画 連番	51
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

奈良とユーラシアに関する研究活動を推進するとともに、その研究成果を県民に還元する

【中期計画】

奈良とユーラシアに関する研究活動に取り組み、さらに発展させます。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
(仮称)奈良県立大学ユーラシア研究センターの設置	ユーラシア研究センターにおいて奈良とユーラシアに関する研究活動を継続するとともに、第1期の研究成果のとりまとめに着手する。	・ユーラシア研究センターにおいて奈良とユーラシアに関する研究活動を継続するとともに、今年度の研究成果報告書を発刊した。 ・第1期の研究成果のとりまとめに向けて、報告書の掲載内容の概要などを各研究会で協議した。	・なし	(研究)価値目標1 ・ユーラシア研究センターにおいて、奈良とユーラシアとのつながりについての調査研究を行い、その成果について広く発信する

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
研究会成果報告書の作成・発行	-	-	4篇 各500部	4篇 各500部	4篇 各500部	4篇 各500部	3篇 各500部	必要部数を作成し、配布した。

II 研究

3 奈良とユーラシアに関する研究活動の推進

法人の評価	A
-------	---

理由	情報誌の発行や講義開講により、研究成果の情報発信に取り組んだ。
----	---------------------------------

中期計画 年度計画 連番	52
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

奈良とユーラシアに関する研究活動を推進するとともに、その研究成果を県民に還元する

【中期計画】

奈良とユーラシアに関する研究活動に取り組み、さらに発展させます。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
研究成果を県民に還元する講演会、セミナー、シンポジウムの実施	ユーラシア研究センターの研究成果をフォーラム等の開催、情報誌の発行等を通じて情報発信する。	・情報誌『EURO-NARASIA Q』を発行した。(17号・18号、各7,500部) ・教養講義「奈良文化コンテンツ論」(受講者:109名)、「奈良文化イメージ論」(受講者:30名)において、これまでの研究成果を題材にした講義を実施した。	※新型コロナウイルスの影響により、フォーラムおよび公開講座の開催を中止した。	(研究)価値目標1 ・ユーラシア研究センターにおいて、奈良とユーラシアとのつながりについての調査研究を行い、その成果について広く発信する

◆実績

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
【評価指標】研究成果に関する講演会、セミナー、シンポジウムの実施回数	指標		2回	2回	2回	2回	2回	2回	※新型コロナウイルスの影響により、フォーラムおよび公開講座を中止した。
	実績	未実施	1回	2回	2回	3回	2回	-	

Ⅱ 研究

3 奈良とユーラシアに関する研究活動の推進

法人の評価	※	理由	新型コロナウイルスの影響により評価困難。	中期計画 年度計画 連番	53
-------	---	----	----------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

奈良とユーラシアに関する研究活動を推進するとともに、その研究成果を県民に還元する

【中期計画】

奈良とユーラシアに関する研究活動に取り組み、さらに発展させます。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
東アジア・サマースクールの実施	奈良県と共催で東アジア・サマースクールを実施する。	なし	※新型コロナウイルスの影響により、海外からの入国が出来ないため、東アジア・サマースクールを中止した。	-

Ⅲ 地域貢献【教育関連】

1 幅広い知識と実践力を持つ優れた人材の育成

法人の評価	A	理由	専任教員によるキャリア教育科目を開講した。	中期計画 年度計画 連番	54
-------	---	----	-----------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

社会のニーズに応じた幅広い知識と実践力を持つ優れた人材の育成

【中期計画】

社会のニーズに応じた幅広い知識と実践力を持つ優れた人材を継続的に育成します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
キャリア育成プログラムの開発・実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアデザインⅠ・キャリアデザインⅡを開講する。</li> <li>・キャリア教育の専任教員による、キャリア教育の体系化に向けての検討を進める。</li> <li>・3年生対象の「キャリア形成講座・就職対策講座」を実施する。</li> <li>・日本労働組合総連合会 奈良県連合会による寄付講座として、教養講義X「働くこととワークルール」を実施する。(21の再掲)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育の専任教員を採用し、キャリアデザインⅠ、キャリアデザインⅡを開講した。</li> <li>・キャリア教育の体系化に向けた検討を行った。</li> <li>・3年生対象の「キャリア形成講座・就職対策講座」を前学期4回、後学期13回、追加講座4回 合計21回実施した。</li> <li>・日本労働組合総連合会 奈良県連合会による寄付講座「教養講義X（働くこととワークルール）」を実施した。</li> </ul>	なし	(教育)価値目標3 ・キャリア教育を充実し体系化することにより、特色あるカリキュラムを構成する

Ⅲ 地域貢献【教育関連】

1 幅広い知識と実践力を持つ優れた人材の育成

法人の評価	A
-------	---

理由	相談員に代わって、キャリア・サポート室で既卒者からの相談に対応した。
----	------------------------------------

中期計画 年度計画 連番	55
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

社会のニーズに応じた幅広い知識と実践力を持つ優れた人材の育成

【中期計画】

社会のニーズに応じた幅広い知識と実践力を持つ優れた人材を継続的に育成します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
リカレント教育センターの相談員の配備	・月1回、リカレント教育センターの相談員を配置する。 ・既卒者の再就職活動の支援を行う。(27の再掲)	・キャリア・サポート室で、既卒者からの就職先での悩みや再就職等に関する相談対応を実施した。(54件)	・リカレントセンターの相談員が体調不良等で勤務出来なかった。	-

◆実績

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
【評価指標】リカレント相談件数(リカレント相談員への相談)	指標		実施に向けて検討・準備					10件	リカレント相談員が勤務できなかったが、キャリア・サポート室で既卒者の相談支援を行った。(54件)
	実績	実績なし	-	-	-	4件	4件	0件	

Ⅲ 地域貢献【教育関連】

2 奈良の魅力を全国に発信できる人材の育成

法人の評価	A
-------	---

理由	次年度に向けて新科目の開設を決定した。
----	---------------------

中期計画 年度計画 連番	56
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

県内外で就職した学生が大学での学びを生かして、奈良の魅力を全国に発信する

【中期計画】

奈良の魅力を学生に伝える教育を実施し、奈良の魅力を全国に発信できる人材を育成します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
奈良の魅力を学生に伝える授業科目の実施	引き続き、奈良の魅力を学生に伝える授業科目として「文学(奈良と文学)」「教養講義Ⅰ(やまとまほろば学)」「教養講義Ⅷ(奈良文化コンテンツ論)」「教養講義Ⅸ(奈良文化イメージ論)」を実施する。	・「文学(奈良と文学)」「教養講義Ⅷ(奈良文化コンテンツ論)」「教養講義Ⅸ(奈良文化イメージ論)」の3科目を開講した。 ・令和3年度から新たに「奈良と仏像」を授業科目として追加することを決定した。	・開講直前に教員都合により「教養講義Ⅰ(やまとまほろば学)」が不開講となった。	-

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
奈良の魅力を学生に伝える授業科目の開講数	2科目	2科目	2科目	2科目	2科目	4科目	3科目	1科目が不開講となり、3科目を開講した。

Ⅲ 地域貢献【教育関連】

2 奈良の魅力を全国に発信できる人材の育成

法人の評価	A
-------	---

理由	フィールドワーク受入先と新型コロナウイルス感染対策等について情報共有を行い、フィールドワークを実施した。
----	--

中期計画 年度計画 連番	57
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

県内外で就職した学生が大学での学びを生かして、奈良の魅力を全国に発信する

【中期計画】

奈良の魅力を学生に伝える教育を実施し、奈良の魅力を全国に発信できる人材を育成します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
奈良県内におけるフィールドワーク先の開拓	地域やフィールドワーク受入先等との連携を強化し、多面的な視点で「奈良」を捉える力の育成につながる学びの支援に努める。	・フィールドワーク受入先と新型コロナウイルスの感染対策等の情報共有を行い、フィールドワークを実施した。	・なし	-

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
県内団体等からのフィールドワーク受入先件数	-	64先	96先	114先	149先	202先	204先	県内団体等のフィールドワーク受入先(累計)は順調に増加してきたが、新型コロナウイルスの影響により新規開拓や既存受入先での活動に制限が生じている。

Ⅲ 地域貢献【教育関連】

2 奈良の魅力を全国に発信できる人材の育成

法人の評価	A
-------	---

理由	同窓会役員と意見交換を行うとともに、ホームページ等を通じた大学情報の発信を行った。
----	---

中期計画 年度計画 連番	58
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

県内外で就職した学生が大学での学びを生かして、奈良の魅力を全国に発信する

【中期計画】

奈良の魅力を学生に伝える教育を実施し、奈良の魅力を全国に発信できる人材を育成します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
卒業生に対する継続的な情報発信	・ホームカミングデーにおいて大学の広報を行い情報発信する。 ・卒業生向けホームページに広報誌を掲載する。	・同窓会役員との意見交換会を行い、若手の同窓会会員にも積極的に参加してもらう体制をつくることとした。(7月) ・10月に発行した大学広報誌『Narapu』(第5号)を、同窓会HPに掲載し、オンラインジャーナルとしてWeb上で閲覧できるようにした。	※新型コロナウイルスの影響により、ホームカミングデーの開催が見送られた。	(法人運営)価値目標4 ・大学活動の取組・成果の発信を充実するとともに、創立70周年を契機とした戦略的な広報を推進する

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
ホームカミングデー等参加者数	59名	74名	同窓会総会(70名)	78名	58名	同窓会総会(62名)	-	※新型コロナウイルスの影響によりホームカミングデーの開催が見送られた。

Ⅲ 地域貢献【教育関連】

2 奈良の魅力を全国に発信できる人材の育成

法人の評価	A
-------	---

理由	同窓会役員と意見交換を行い、新たな体制づくりを確認した。
----	------------------------------

中期計画 年度計画 連番	59
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

県内外で就職した学生が大学での学びを生かして、奈良の魅力を全国に発信する

【中期計画】

奈良の魅力を学生に伝える教育を実施し、奈良の魅力を全国に発信できる人材を育成します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
卒業後のネットワークの構築(ホームカミングデーの実施など)	同窓会が開催するホームカミングデーに協力するなど、卒業後のネットワーク構築を進める。	・同窓会役員との意見交換会を行い、若手の同窓会会員にも積極的に参加してもらう体制をつくることとした。(7月)	※新型コロナウイルスの影響により、ホームカミングデーの開催が見送られた。	-

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
ホームカミングデー等参加者数	59名	74名	同窓会総会(70名)	78名	58名	同窓会総会(62名)	-	※新型コロナウイルスの影響によりホームカミングデーの開催が見送られた。

Ⅲ 地域貢献【教育関連】

3 地域の学校(大学・高等学校)間の連携による地域貢献

法人の評価	A
-------	---

理由	新型コロナウイルスの感染対策を講じた上で、模擬講義を実施した。
----	---------------------------------

中期計画 年度計画 連番	60
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

地域の学校間の連携を通じて、大学の使命である地域づくりへの貢献を実現する

【中期計画】

他大学、高等学校など地域の学校間の連携を強化します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
高等学校との連携事業により、高校での模擬授業等を実施	高大連携事業(模擬授業、ワークショップ等)を実施する。	※新型コロナウイルスの感染対策を講じた上で、高大連携として模擬講義を3回実施した。(奈良工業高等専門学校、奈良北高校、西の京高校)	・なし	(地域連携)価値目標1・模擬講義、高大連携のワークショップなどを通じた高等学校との連携を強化する

◆実績

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
〔評価指標〕高大連携事業による実施校数	指標		3校	3校	3校	4校	4校	4校	新型コロナウイルスの影響はあったが、実施校数は前年度と同程度であった。
	実績	3校	3校	3校	3校	5校	4校	3校	
高大連携事業による事業回数		-	3回	3回	3回	10回	8回	3回	※新型コロナウイルスの影響により、事業回数は減少した。

Ⅲ 地域貢献【教育関連】

4 県民に対する生涯学習の機会の提供

法人の評価	※	理由	新型コロナウイルスの影響により評価困難。	中期計画 年度計画 連番	61
-------	---	----	----------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

大学の資源を活用して、県民への生涯学習の機会を充実する

【中期計画】

県民(市民)講座の開催回数の増加を図るほか、地域交流センターを活用した各種セミナーの実施等により県民に対する生涯学習の機会の提供に努めます。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
県民(市民)講座の開催回数の増加	県民講座を年3回以上開催する。	・なし	※新型コロナウイルスの影響により、県民講座の開催を見送った。	(地域連携)価値目標1 ・県民講座などを通じた社会的課題の共有と知的交流を推進する

◆実績

項目	年度								実績の現状分析
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2		
〔評価指標〕県民(市民)講座開催回数	指標		年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	※新型コロナウイルスの影響により、開催を見送った。
	実績	年2回	年2回	年2回	年3回	年3回	年2回	-	
〔評価指標〕県民(市民)講座受講者数	指標		200人	210人	220人	230人	240人	250人	※新型コロナウイルスの影響により、開催を見送った。
	実績	30人	115人	209人	157人	418人	150人	-	

Ⅲ 地域貢献【教育関連】

4 県民に対する生涯学習の機会の提供

法人の評価	※	理由	新型コロナウイルスの影響により評価困難。	中期計画 年度計画 連番	62
-------	---	----	----------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

大学の資源を活用して、県民への生涯学習の機会を充実する

【中期計画】

県民(市民)講座の開催回数の増加を図るほか、地域交流センターを活用した各種セミナーの実施等により県民に対する生涯学習の機会の提供に努めます。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
県民のニーズに応じた講座開催と開催情報の発信の強化	・受講者へのアンケート調査等により県民のニーズに応じた講座を開催する。 ・ホームページ、報道発表等を通じて開催情報の発信を強化する。	・なし	※新型コロナウイルスの影響により、県民講座の開催を見送った。	-

◆実績

項目	年度								実績の現状分析
	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2		
〔評価指標〕県民(市民)講座開催回数	指標		年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	※新型コロナウイルスの影響により、開催を見送った。
	実績	年2回	年2回	年2回	年3回	年3回	年2回	-	
〔評価指標〕県民(市民)講座受講者数	指標		200人	210人	220人	230人	240人	250人	※新型コロナウイルスの影響により、開催を見送った。
	実績	30人	115人	209人	157人	418人	150人	-	



Ⅲ 地域貢献【教育関連】

4 県民に対する生涯学習の機会の提供

法人の評価	A
-------	---

理由	新型コロナウイルスの影響でセミナー等の開催に制限が生じたが、ウェブサイトの活用等による情報発信を実施した。
----	---

中期計画 年度計画 連番	63
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

大学の資源を活用して、県民への生涯学習の機会を充実する

【中期計画】

県民(市民)講座の開催回数の増加を図るほか、地域交流センターを活用した各種セミナーの実施等により県民に対する生涯学習の機会の提供に努めます。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
県民向けに協働プロジェクトの成果等を発表するセミナーの開催	セミナー・ホームページ等を通じて、本学の教員・学生の研究活動の成果を地域に還元する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域創造研究センターのウェブサイトを開設し、本学の教員・学生による地域活動や学外との共同研究を紹介した。</li> <li>・実践型アートマネジメント人材育成プログラム「CHISOU」を実施した。</li> <li>・奈良地域経済研究ユニットのフォーラムを開催した。</li> </ul>	・なし	(地域連携)価値目標2 ・地域創造研究センターのシーズ及び成果を積極的に発信し、地域連携に繋がる取組を促進する

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
協働プロジェクト等報告会の聴講者数	-	-	-	-	100名	352名	260名	※新型コロナウイルスの影響により、協働プロジェクトの聴講者数が減少した。

Ⅲ 地域貢献【教育関連】

4 県民に対する生涯学習の機会の提供

法人の評価	A
-------	---

理由	新型コロナウイルスの感染対策を講じた上で、出前講義等を実施した。
----	----------------------------------

中期計画 年度計画 連番	64
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

大学の資源を活用して、県民への生涯学習の機会を充実する

【中期計画】

県民(市民)講座の開催回数の増加を図るほか、地域交流センターを活用した各種セミナーの実施等により県民に対する生涯学習の機会の提供に努めます。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
教員による県民の希望に応じた出前講義の実施	種々媒体を活用し、「出前講義」等の広報強化に努め、県民のニーズに応える。	※新型コロナウイルスの感染対策を講じた上で、出前講義・模擬講義を5件実施した。 (奈良工業高等専門学校、奈良北高校、西の京高校、奈良教育大学附属中学、奈良女子大学)	・なし	(地域連携)価値目標3 ・大学のシーズと県民ニーズのマッチングを図り、出前講義等による県民への学習機会を提供する

◆実績

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
【評価指標】出前講座開催回数	指標		6回	6回	7回	7回	8回	8回	※新型コロナウイルスの影響により、開催回数は減少した。
	実績	3回	6回	7回	9回	9回	15回	5回	
【評価指標】出前講座受講者数	指標		260人	280人	300人	320人	340人	360人	※新型コロナウイルスの影響により、受講者数は減少した。
	実績	126人	510人	347人	569人	448人	1,168人	466人	

Ⅲ 地域貢献【教育関連】

4 県民に対する生涯学習の機会の提供

法人の評価	※
-------	---

理由	新型コロナウイルスの影響により評価困難。
----	----------------------

中期計画 年度計画 連番	65
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

大学の資源を活用して、県民への生涯学習の機会を充実する

【中期計画】

県民(市民)講座の開催回数の増加を図るほか、地域交流センターを活用した各種セミナーの実施等により県民に対する生涯学習の機会の提供に努めます。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
大学の講義科目への科目等履修生の積極的受入	大学の講義科目へ科目等履修生を積極的に受け入れる。	・なし	・令和2年度の科目等履修生は2名受入予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、受入れを中止した。	-

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
科目等履修生の受入数	1名	2名	3名	2名	1名	3名	-	※新型コロナウイルスの影響により、科目等履修生の受入れを中止した。

Ⅲ 地域貢献【教育関連】

4 県民に対する生涯学習の機会の提供

法人の評価	※
-------	---

理由	新型コロナウイルスの影響により評価困難。
----	----------------------

中期計画 年度計画 連番	66
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

大学の資源を活用して、県民への生涯学習の機会を充実する

【中期計画】

県民(市民)講座の開催回数の増加を図るほか、地域交流センターを活用した各種セミナーの実施等により県民に対する生涯学習の機会の提供に努めます。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
奈良県立大学シニアカレッジの充実	・奈良県立大学シニアカレッジにおいて、3会場で22講座を実施する。 ・受講生へのアンケート等に基づき、開講講座等について検討する。	・なし	※1,175人に受講決定をしていたが、新型コロナウイルスの影響により、奈良県立大学シニアカレッジを中止した。	(地域連携)価値目標3 ・大学のシーズと県民ニーズのマッチングを図り、出前講義等による県民への学習機会を提供する

◆実績

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
〔評価指標〕シニアカレッジ受講者数	指標		600人	600人	600人	600人	600人	600人	※新型コロナウイルスの影響により、事業を中止した。
	実績	492人	647人	811人	817人	1,016人	1,334人	-	

Ⅲ 地域貢献【教育関連】

4 県民に対する生涯学習の機会の提供

法人の評価	※	理由	新型コロナウイルスの影響により評価困難。	中期計画 年度計画 連番	67
-------	---	----	----------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

大学の資源を活用して、県民への生涯学習の機会を充実する

【中期計画】

県民(市民)講座の開催回数の増加を図るほか、地域交流センターを活用した各種セミナーの実施等により県民に対する生涯学習の機会の提供に努めます。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
東アジア・サマースクールの実施	奈良県と共催で東アジア・サマースクールを実施する。(53の再掲)	・なし	※新型コロナウイルスの影響により、海外からの入国が出来ないため、東アジア・サマースクールを中止した。	-

Ⅲ 地域貢献【教育関連】

5 社会人の学び直しの機会の提供

法人の評価	-	理由	-	中期計画 年度計画 連番	68
-------	---	----	---	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

社会人に大学での学び直す機会を提供し、最新の研究成果を社会で役立ててもらおう

【中期計画】

県民(市民)講座等の提供だけでなく、社会人が大学で学び直す機会を提供するためフレックス(夜間)コースの開設を検討します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
フレックス(夜間)コースの検討	(平成31年度に完了)	(平成31年度に完了)	-	(教育)価値目標1 ・地域のニーズを踏まえた新学部(工学系)を令和6年4月(目途)に設置するため、必要な準備を進める ・大学院設置の準備を進める

Ⅲ 地域貢献【研究関連】

6 地域創造データベースの構築、活用及び提供

法人の評価	A
-------	---

理由	奈良県立大学リポジトリへの論文等の登録が進んだ。
----	--------------------------

中期計画 年度計画 連番	69
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

研究成果をデータベース化し、地域で役立つ知恵と情報を発信する

【中期計画】

地域創造データベースを構築・稼働し、映像メディア等を活用します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
地域創造データベースの充実	奈良県立大学リポジトリのコンテンツの充実を図る。	・奈良県立大学リポジトリに、研究季報の論文等を50件追加登録した。	・なし	(研究)価値目標1 ・「奈良県立大学リポジトリ」の活用等により、研究成果の蓄積と発信を進める

◆実績

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
【評価指標】オンラインデータ数	指標	-	80件	140件	200件	270件	340件	420件	奈良県立大学リポジトリへの論文等の登録数が増えた。
	実績		238件	361件	435件	1,490件	1,543件	1,593件	

※地域創造データベース(平成29年度以前)、奈良県立大学リポジトリ(平成30年度以降)への登録件数

Ⅲ 地域貢献【研究関連】

6 地域創造データベースの構築、活用及び提供

法人の評価	A
-------	---

理由	リポジトリに掲載している研究成果が、相当数利用された。
----	-----------------------------

中期計画 年度計画 連番	70
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

研究成果をデータベース化し、地域で役立つ知恵と情報を発信する

【中期計画】

地域創造データベースを構築・稼働し、映像メディア等を活用します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
地域創造データベースの広報に努め、県民の利用を促進	国立情報学研究所のCiNii Articlesとのシステム連携により、利用を促進する。	・国立情報学研究所のCiNii Articlesとのシステム連携により、奈良県立大学リポジトリに掲載された研究成果の利用が進んだ。(論文ダウンロード件数:122,865件)	・なし	(研究)価値目標1 ・「奈良県立大学リポジトリ」の活用等により、研究成果の蓄積と発信を進める

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
オンラインデータのダウンロード数	-	17,674件	13,929件	23,033件	108,633件	147,066件	122,865件	リポジトリに掲載している研究成果が、相当数利用された。

※地域創造データベース(平成29年度以前)、奈良県立大学リポジトリ(平成30年度以降)への登録データのダウンロード数

Ⅲ 地域貢献【研究関連】

7 大学・地域の協働による課題解決型プロジェクトの推進

法人の評価	A
-------	---

理由	協定締結先と、今後の連携内容等について検討した。
----	--------------------------

中期計画 年度計画 連番	71
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

市町村等地域との協働を推進して、地域コミュニティの中核的存在として相応しい機能を備えた大学となる

【中期計画】

大学の資源を活用して、市町村・地域団体・企業・NPO等との協働による課題解決型プロジェクトを推進します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
市町村等との連携協定の推進	連携協定を締結した市町村との協議・情報交流などの連携強化に努める。	・協定締結先に地域創造研究センターについての情報を提供し、今後の連携内容等を検討した。	・なし	(地域連携)価値目標1・地域の産学公民各団体と連携し、調査研究・社会活動事業を実施する

◆実績

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
〔評価指標〕県内の自治体、地域団体、NPO等連携協定数	指標		18先	19先	20先	21先	22先	23先	新たな協定締結はなかった。
	実績	17先	21先	22先	27先	29先	29先	29先	

Ⅲ 地域貢献【研究関連】

7 大学・地域の協働による課題解決型プロジェクトの推進

法人の評価	A
-------	---

理由	新型コロナウイルスの感染対策を講じた上で、協働プロジェクトを実施した。
----	-------------------------------------

中期計画 年度計画 連番	72
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

市町村等地域との協働を推進して、地域コミュニティの中核的存在として相応しい機能を備えた大学となる

【中期計画】

大学の資源を活用して、市町村・地域団体・企業・NPO等との協働による課題解決型プロジェクトを推進します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
協働プロジェクトの実施	市町村の課題把握に努め、教員との連携による協働プロジェクトを実施する。	※新型コロナウイルスの感染対策を講じた上で、協働プロジェクト21件を実施した。	・なし	(地域連携)価値目標1・地域の産学公民各団体と連携し、調査研究・社会活動事業を実施する

◆実績

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
〔評価指標〕協働プロジェクトの取組実績	指標		15件	17件	19件	21件	23件	25件	新型コロナウイルスの影響により、取組件数は減少した。
	実績	9件	43件	44件	38件	25件	29件	21件	

Ⅲ 地域貢献【研究関連】

7 大学・地域の協働による課題解決型プロジェクトの推進

法人の評価	※
-------	---

理由	新型コロナウイルスの影響により評価困難。
----	----------------------

中期計画 年度計画 連番	73
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

市町村等地域との協働を推進して、地域コミュニティの中核的存在として  
相応しい機能を備えた大学となる

【中期計画】

大学の資源を活用して、市町村・地域団体・企業・NPO等との協働による課題  
解決型プロジェクトを推進します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画に おける取組
		令和2年度計画において、 「進捗した取組」	令和2年度計画において、 「進捗しなかった取組」	
プロジェクトの質の検証	協働プロジェクトの実施状況につ いて、作成した基礎資料に基づ き、質の検証を行っていく。	※新型コロナウイルスの感染対策を講じた上で、協働 プロジェクト21件を実施した。	※新型コロナウイルスの影響に より、協働プロジェクトの実施に 制限が生じたため、平常時に おける基礎資料が作成できず、質 の検証が行えなかった。	-

Ⅲ 地域貢献【研究関連】

7 大学・地域の協働による課題解決型プロジェクトの推進

法人の評価	A
-------	---

理由	新型コロナウイルスの感染対策を講じた上で、ゼミや フィールドワークを通じたPBLを実施した。
----	---

中期計画 年度計画 連番	74
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

市町村等地域との協働を推進して、地域コミュニティの中核的存在として  
相応しい機能を備えた大学となる

【中期計画】

大学の資源を活用して、市町村・地域団体・企業・NPO等との協働による課題  
解決型プロジェクトを推進します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画に おける取組
		令和2年度計画において、 「進捗した取組」	令和2年度計画において、 「進捗しなかった取組」	
コモンズゼミにおけるPBL (Project-based- Learning)教育、フィールド ワーク等による学生の 実践的な課題解決能力を 育成	コモンズゼミやフィールドワーク 等を通じて、奈良や他地域の地 域課題を発見し、学生の実践的 な課題解決能力の育成に努める など、PBL教育を推進する。	・新型コロナウイルスの影響により、地域での活動に制 限は生じたが、オンラインの活用等により、可能な範囲 でゼミやフィールドワークを通じたPBL教育を実施した。	・なし	(教育)価値目標1 ・自治体や企業などと連 携したPBL(課題解決型 学習)の実施により、実 践的な課題解決能力を 鍛える

Ⅲ 地域貢献【研究関連】

8 研究成果等の地域への還元

法人の評価	S	理由	学長裁量経費による研究支援を実施した。地域創造研究センターを設置し、学外の研究者との共同研究を開始した。	中期計画 年度計画 連番	75
-------	---	----	--	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

地域づくりに貢献できる研究テーマを継続的に追求し、研究成果等を地域に還元する場をつくる

【中期計画】

地域づくりに貢献できる研究を支援し、一般県民を含む研究会・シンポジウムの開催等を通じて研究成果等を地域に還元します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
地域に貢献できる研究テーマの設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>学長裁量による競争的研究支援を実施する。</li> <li>共同研究員制度を実施する。(48の再掲)</li> <li>地域創造研究センターを設置し、地域課題の研究を行う。(50の再掲)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学長裁量経費を活用した「新型コロナウイルス関連研究」を学内募集し、2件に対して研究支援を実施した。</li> <li>共同研究員(15組、25名)を受入れた。</li> <li>地域創造研究センターを開設した。(6月)</li> <li>地域創造研究センターのホームページの開設、リーフレットの県内外への配布により、県内のシンクタンクとしての広報を行った。</li> <li>地域創造研究センターに、それぞれ独自のテーマを掲げる11の研究ユニットを立ち上げ、学外の研究者との共同研究を開始した。</li> <li>奈良地域経済研究ユニットが「コロナ禍における奈良県経済の課題と展望」をテーマに、学外者・学生を含めたフォーラムを開催し、研究を通じた教育を実践した。(2月 参加者31名)</li> </ul>	なし	<p>(研究)価値目標1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の課題解決につながる研究を推進する</li> <li>共同研究や受託研究を推進し、研究力の向上を図る</li> </ul> <p>(地域連携)価値目標2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域創造研究センターの体制を充実し、地域のシンクタンクとしての機能を強化する</li> <li>地域創造研究センターのシーズ及び成果を積極的に発信し、地域連携に繋がる取組を促進する</li> </ul>

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
学長裁量経費助成件数	-	2件	1件	1件	1件	-	2件	学内募集を行い、2件を採択した。

75

Ⅲ 地域貢献【研究関連】

8 研究成果等の地域への還元

法人の評価	S	理由	学長裁量経費による研究支援を実施した。	中期計画 年度計画 連番	76
-------	---	----	---------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

地域づくりに貢献できる研究テーマを継続的に追求し、研究成果等を地域に還元する場をつくる

【中期計画】

地域づくりに貢献できる研究を支援し、一般県民を含む研究会・シンポジウムの開催等を通じて研究成果等を地域に還元します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
地域貢献に関する研究を行う研究者への支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>学長裁量による競争的研究支援を実施する。</li> <li>共同研究員制度を実施する。(48の再掲)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学長裁量経費を活用した「新型コロナウイルス関連研究」を学内募集し、2件に対して研究支援を実施した。</li> <li>共同研究員(15組、25名)を受入れた。</li> </ul>	なし	<p>(研究)価値目標1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の課題解決につながる研究を推進する</li> <li>共同研究や受託研究を推進し、研究力の向上を図る</li> </ul>

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
学長裁量経費助成件数	-	2件	1件	1件	1件	-	2件	学内募集を行い、2件を採択した。

76

Ⅲ 地域貢献【研究関連】

8 研究成果等の地域への還元

法人の評価	A	理由	奈良県立大学リポトリへの論文等の登録が進んだ。	中期計画 年度計画 連番	77
-------	---	----	-------------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

地域づくりに貢献できる研究テーマを継続的に追求し、研究成果等を地域に還元する場をつくる

【中期計画】

地域づくりに貢献できる研究を支援し、一般県民を含む研究会・シンポジウムの開催等を通じて研究成果等を地域に還元します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
研究会・シンポジウム等を通じて研究成果の地域への還元	研究季報(年4回)の発行、研究論文の奈良県立大学リポトリ等への掲載、県民向けの講座等の開催により、研究成果を広く地域に情報発信する。(49の再掲)	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究季報を4巻発行した。第30巻第4号、第31巻第1号～第3号</li> <li>奈良県立大学リポトリに、研究季報の論文等を50件追加登録した。</li> <li>奈良地域経済研究ユニットが「コロナ禍における奈良県経済の課題と展望」をテーマに、学外者・学生を含めたフォーラムを開催し、研究を通じた教育を実践した。(2月 参加者31名)</li> </ul>	なし	(研究)価値目標1 ・「奈良県立大学リポトリ」の活用等により、研究成果の蓄積と発信を進める

◆実績

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
【評価指標】オンラインデータ数	指標	—	80件	140件	200件	270件	340件	420件	奈良県立大学リポトリへの論文等の登録数が増えた。
	実績	—	238件	361件	435件	1,490件	1,543件	1,593件	

※地域創造データベース(平成29年度以前)、奈良県立大学リポトリ(平成30年度以降)への登録件数

Ⅲ 地域貢献【研究関連】

8 研究成果等の地域への還元

法人の評価	A	理由	必要部数を発行、配布した。	中期計画 年度計画 連番	78
-------	---	----	---------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

地域づくりに貢献できる研究テーマを継続的に追求し、研究成果等を地域に還元する場をつくる

【中期計画】

地域づくりに貢献できる研究を支援し、一般県民を含む研究会・シンポジウムの開催等を通じて研究成果等を地域に還元します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
地(知)の拠点整備事業広報誌の発行	大学広報誌「Narapu」により、大学の種々取り組みや学生の活動等の研究成果を地域に情報発信する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学広報誌『Narapu』(第5号)を10月に発行し、学生の出身高校や連携協定先、自治体等に配布した。(5,000部)</li> </ul>	なし	(法人運営)価値目標4 ・大学活動の取組・成果の発信を充実するとともに、創立70周年を契機とした戦略的な広報を推進する

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
大学広報誌の発行回数	3回	3回	3回	3回	2回	2回	1回	第6号(後期号)は、3月発行予定を新入生向けに4月1日発行に変更したため、年度内の発行回数は減少した。



Ⅲ 地域貢献【研究関連】

8 研究成果等の地域への還元

法人の評価	A	理由	奈良県立大学リポジトリへの論文等の登録が進んだ。	中期計画 年度計画 連番	79
-------	---	----	--------------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

地域づくりに貢献できる研究テーマを継続的に追求し、研究成果等を地域に還元する場をつくる

【中期計画】

地域づくりに貢献できる研究を支援し、一般県民を含む研究会・シンポジウムの開催等を通じて研究成果等を地域に還元します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
研究季報等を通じた研究成果の発信	研究季報(年4回)の発行、研究論文の奈良県立大学リポジトリ等への掲載、県民向けの講座等の開催により、研究成果を広く地域に情報発信する。(49の再掲)	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究季報を4巻発行した。第30巻第4号、第31巻第1号～第3号</li> <li>奈良県立大学リポジトリに、研究季報の論文等を50件追加登録した。</li> <li>奈良地域経済研究ユニットが「コロナ禍における奈良県経済の課題と展望」をテーマに、学外者・学生を含めたフォーラムを開催し、研究を通じた教育を実践した。(2月 参加者31名)</li> </ul>	なし	(研究)価値目標1 ・「奈良県立大学リポジトリ」の活用等により、研究成果の蓄積と発信を進める

◆実績

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
【評価指標】オンラインデータ数	指標	-	80件	140件	200件	270件	340件	420件	奈良県立大学リポジトリへの論文等の登録数が増えた。
	実績		238件	361件	435件	1,490件	1,543件	1,593件	

※地域創造データベース(平成29年度以前)、奈良県立大学リポジトリ(平成30年度以降)への登録件数

79

Ⅲ 地域貢献【地域交流関連】

9 学生の地域貢献

法人の評価	A	理由	フィールドワーク受入先と新型コロナウイルス感染症対策等について情報共有を行い、フィールドワークを実施した。	中期計画 年度計画 連番	80
-------	---	----	---	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

学生が大学での研究活動等を通じて地域に貢献する

【中期計画】

学生がフィールドワーク等を通じて地域に貢献できるよう支援体制を整えます。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
学生の研究活動が円滑に進むための支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域交流室においてフィールドワーク先と連携して学生の問題関心とフィールドとのマッチングを継続して図っていく。</li> <li>海外連携協定校への長期派遣留学生に対する費用助成を継続する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フィールドワーク受入先と新型コロナウイルスの感染対策等の情報共有を行い、フィールドワークを実施した。</li> </ul>	※新型コロナウイルスの影響により、学生の海外派遣を見合わせた。	(地域連携)価値目標1 ・地域の産学公民各団体と連携し、調査研究・社会活動事業を実施する

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
フィールドワーク受入先件数	-	-	-	138先	174先	230先	234先	フィールドワークの受入先件数は、ほぼ増加はなく、累計234件(県内204件、県外30件)となった。

80

Ⅲ 地域貢献【地域交流関連】

9 学生の地域貢献

法人の評価	※	理由	新型コロナウイルスの影響により評価困難。	中期計画 年度計画 連番	81
-------	---	----	----------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

学生が大学での研究活動等を通じて地域に貢献する

【中期計画】

学生がフィールドワーク等を通じて地域に貢献できるよう支援体制を整えます。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
学生ボランティア活動に対するサポート	地域交流室等において、学生のボランティア活動を支援する。	・なし	※新型コロナウイルスの影響により、学生のボランティア活動は休止状態となった。	-

Ⅲ 地域貢献【地域交流関連】

10 奈良県のニーズに対応した地域貢献活動

法人の評価	A	理由	地域からの相談窓口となる地域創造研究センターを開設した。	中期計画 年度計画 連番	82
-------	---	----	------------------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

大学と地域が連携を強化し、地域のニーズに対応した課題解決に取り組む

【中期計画】

大学として県内の自治体、地域団体、企業、NPO等と連携して研究会・シンポジウム等を開催します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
県内の自治体、地域団体、NPO等と連携した地域の課題解決への取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村の課題把握に努め、教員との連携による協働プロジェクトを実施する。(72の再掲)</li> <li>・本学の知的資源と地域のニーズのマッチングのための拠点を整備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※新型コロナウイルスの感染対策を講じた上で、協働プロジェクト21件を実施した。</li> <li>・地域からの相談窓口となる地域創造研究センターを開設し、相談受付を開始した。(6月)</li> </ul>	・なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>(地域連携)価値目標1 ・地域の産学公民各団体と連携し、調査研究・社会活動事業を実施する</li> <li>(地域連携)価値目標2 ・地域創造研究センターの体制を充実し、地域のシンクタンクとしての機能を強化する</li> </ul>

◆実績

項目	指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
		[評価指標]協働プロジェクトの取組実績	実績	9件	43件	44件	38件	25件	

Ⅲ 地域貢献【地域交流関連】

10 奈良県のニーズに対応した地域貢献活動

法人の評価	A
-------	---

理由	ウェブサイトを通じての情報発信や、研究ユニットのフォーラム等を開催した。
----	--------------------------------------

中期計画 年度計画 連携	83
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

大学と地域が連携を強化し、地域のニーズに対応した課題解決に取り組む

【中期計画】

大学として県内の自治体、地域団体、企業、NPO等と連携して研究会・シンポジウム等を開催します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
得られた成果について研究会・シンポジウム等で地域に還元	セミナー・ホームページを通じて、本学の教員・学生の研究活動の成果を地域に還元する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域創造研究センターのウェブサイトを開設し、本学の教員・学生による地域活動や学外との共同研究を紹介した。</li> <li>・実践型アートマネジメント人材育成プログラム「CHISOU」を実施した。</li> <li>・奈良地域経済研究ユニットのフォーラムを開催した。</li> </ul>	なし	(地域連携)価値目標2 ・地域創造研究センターのシーズ及び成果を積極的に発信し、地域連携に繋がる取組を促進する

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
協働プロジェクト等報告会の聴講者数	-	-	-	-	100名	352名	260名	※新型コロナウイルスの影響により、協働プロジェクトの聴講者数が減少した。

Ⅲ 地域貢献【地域交流関連】

10 奈良県のニーズに対応した地域貢献活動

法人の評価	A
-------	---

理由	地域創造研究センターを開設し、地域連携の取組を開始した。
----	------------------------------

中期計画 年度計画 連携	84
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

大学と地域が連携を強化し、地域のニーズに対応した課題解決に取り組む

【中期計画】

大学として県内の自治体、地域団体、企業、NPO等と連携して研究会・シンポジウム等を開催します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
県内企業との協力関係の強化	県内企業並びに地域の商工会等からの連携協力並びに情報交流のニーズに積極的に対応し、必要に応じて本学のシーズとのマッチングを図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究推進機能とコンシェルジュ機能を持つ地域創造研究センターを開設し、地域の団体・企業等との連携を開始させた。</li> <li>・地域創造研究センターのホームページの開設、リーフレットの県内外への配布により、県内のシンクタンクとしての広報を行った。</li> </ul>	なし	(地域連携)価値目標2 ・地域創造研究センターの体制を充実し、地域のシンクタンクとしての機能を強化する ・地域創造研究センターのシーズ及び成果を積極的に発信し、地域連携に繋がる取組を促進する

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
県内企業等連携協定数	7先	7先	7先	7先	9先	9先	9先	・新たな協定締結はなかった。

Ⅲ 地域貢献【地域交流関連】

11 地域交流拠点の活用(協働サロン等)

法人の評価	※
-------	---

理由	新型コロナウイルスの影響により評価困難。
----	----------------------

中期計画 年度計画 連番	85
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

地域交流拠点を活用して、地域における課題に取り組む

【中期計画】

平成25年度に設置した協働サロン及び地域サテライトを継続的に活用することにより地域との交流を活性化します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
協働サロン及び地域サテライトの継続的な開放	協働サロンの利活用を推進する。	・なし	※新型コロナウイルスの影響により、学外者の構内立入や協働サロンの学外利用を制限した。	-

◆実績

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
〔評価指標〕協働サロン利用者数	指標		150人	210人	270人	330人	390人	450人	※新型コロナウイルスの影響により、学外者の構内立入を制限したため、利用者数は減少した。
	実績	804人	706人	975人	682人	995人	650人	128人	
協働サロン利用回数		-	204回	240回	219回	242回	230回	83回	※新型コロナウイルスの影響により、学外者の構内立入を制限したため、利用回数は減少した。

Ⅲ 地域貢献【地域交流関連】

11 地域交流拠点の活用(協働サロン等)

法人の評価	※
-------	---

理由	新型コロナウイルスの影響により評価困難。
----	----------------------

中期計画 年度計画 連番	86
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

地域交流拠点を活用して、地域における課題に取り組む

【中期計画】

平成25年度に設置した協働サロン及び地域サテライトを継続的に活用することにより地域との交流を活性化します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
大学ホームページや各種メディアを活用して協働サロン及び地域サテライトをPR	大学ホームページや各種メディアを活用して、地域交流拠点として認知度を高める。	・なし	※新型コロナウイルスの影響により、学外者の構内立入や協働サロンの学外利用を制限した。	-

◆実績

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
〔評価指標〕協働サロン利用者数	指標		150人	210人	270人	330人	390人	450人	新型コロナウイルスの影響により、学外者の構内立入を制限したため、利用者数は減少した。
	実績	804人	706人	975人	682人	995人	650人	128人	

Ⅲ 地域貢献【地域交流関連】

12 地域に開かれたキャンパスづくり(施設の開放)

法人の評価	A	理由	地域交流棟のリニューアルを行った。	中期計画 年度計画 連番	87
-------	---	----	-------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

地域交流のできる施設の整備及び県民への開放

【中期計画】

地域との交流を図る施設の整備(地域交流棟の整備、図書館・体育館の改築)を推進し、県民への開放に努めます。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
地域住民に開かれた施設及び活動事業内容の充実	・地域交流棟を活用した活動事業内容を充実する。 ・施設整備基本計画の見直しの中で、地域に開かれた施設の整備について検討する。	・地域交流棟3階ラーニングコモンズにおいて、新型コロナウイルスの感染対策を実施した上で、実践型アートマネジメント人材育成プログラム「CHISOU」によるレクチャーを開催した。 ・地域交流棟1階フロアを整理して県産材家具を設置するとともに、屋上庭園の整備を行った。 ・県担当課とともに、施設整備計画の見直しを行った。	・なし	-

◆実績

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
【評価指標】県民(市民)講座受講者数	指標		200人	210人	220人	230人	240人	250人	※新型コロナウイルスの影響により、開催を見送った。
	実績	30人	115人	209人	157人	418人	150人	-	
【評価指標】協働サロン利用者数	指標		150人	210人	270人	330人	390人	450人	※新型コロナウイルスの影響により、学外者の構内立入を制限したため、利用者数は減少した。
	実績	804人	706人	975人	682人	995人	650人	128人	

87

Ⅲ 地域貢献【地域交流関連】

12 地域に開かれたキャンパスづくり(施設の開放)

法人の評価	A	理由	大学ホームページを利用した広報を行った。	中期計画 年度計画 連番	88
-------	---	----	----------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

地域交流のできる施設の整備及び県民への開放

【中期計画】

地域との交流を図る施設の整備(地域交流棟の整備、図書館・体育館の改築)を推進し、県民への開放に努めます。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
大学ホームページや各種メディアを活用して大学の施設及び活動事業をPR	大学ホームページや各種メディアを活用して大学の施設及び活動事業をPRする。	・オープンキャンパス及び大学説明会に関する情報を、大学ホームページ、新聞広告、オープンキャンパス情報サイト、県広報誌、大学案内、ラジオにより発信した。 ・大学ホームページ内に、「メディアで見る奈良県立大学」のページを設け、学内外への情報発信を行った。(26件掲載) ・報道機関向けのコモンズ棟内覧会を開催した。(9月)	・なし	(法人運営)価値目標4 ・大学活動の取組・成果の発信を充実するとともに、創立70周年を契機とした戦略的な広報を推進する

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
大学ホームページのアクセス数	-	-	-	380,362件	414,074件	438,093件	560,295件	オープンキャンパスをオンラインで行ったことなどにより、アクセス数は大幅に増加した。

88

Ⅲ 地域貢献【地域交流関連】

12 地域に開かれたキャンパスづくり(施設の開放)

法人の評価	※	理由	新型コロナウイルスの影響により評価困難。	中期計画 年度計画 連番	89
-------	---	----	----------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

地域交流のできる施設の整備及び県民への開放

【中期計画】

地域との交流を図る施設の整備(地域交流棟の整備、図書館・体育館の改築)を推進し、県民への開放に努めます。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
県民(市民)講座の開催回数の増加	県民講座を年3回以上開催する。(61の再掲)	なし	※新型コロナウイルスの影響により、県民講座の開催を見送った。	(地域連携)価値目標1・県民講座などを通じた社会的課題の共有と知的交流を推進する

◆実績

項目	H26 H27 H28 H29 H30 H31 R2								実績の現状分析
	指標	実績	指標	実績	指標	実績	指標	実績	
〔評価指標〕県民(市民)講座開催回数	指標		年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	※新型コロナウイルスの影響により、開催を見送った。
	実績	年2回	年2回	年2回	年3回	年3回	年2回	-	
〔評価指標〕県民(市民)講座受講者数	指標		200人	210人	220人	230人	240人	250人	※新型コロナウイルスの影響により、開催を見送った。
	実績	30人	115人	209人	157人	418人	150人	-	

Ⅲ 地域貢献【地域交流関連】

12 地域に開かれたキャンパスづくり(施設の開放)

法人の評価	※	理由	新型コロナウイルスの影響により評価困難。	中期計画 年度計画 連番	90
-------	---	----	----------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

地域交流のできる施設の整備及び県民への開放

【中期計画】

地域との交流を図る施設の整備(地域交流棟の整備、図書館・体育館の改築)を推進し、県民への開放に努めます。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
開放施設を活用した県民向けイベントの開催	県民開放施設を活用して県民向けイベントを開催する。	・地域交流棟3階ラーニングcommonsにおいて、新型コロナウイルスの感染対策を実施した上で、実践型アートマネジメント人材育成プログラム「CHISOU」によるレクチャーを開催した。	※新型コロナウイルスの影響により、学外者の構内立入や協働サロンの学外利用を制限した。	-

Ⅲ 地域貢献【地域交流関連】

12 地域に開かれたキャンパスづくり(施設の開放)

法人の評価	※	理由	新型コロナウイルスの影響により評価困難。	中期計画 年度計画 運番	91
-------	---	----	----------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

地域交流のできる施設の整備及び県民への開放

【中期計画】

地域との交流を図る施設の整備(地域交流棟の整備、図書館・体育館の改築)を推進し、県民への開放に努めます。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
貸館事業の実施	県民開放施設を貸し出し、地域との交流を深める。	なし	※新型コロナウイルスの影響により、学外者の構内立入や協働サロンの学外利用を制限した。	-

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
施設貸出回数	-	-	11件	8件	26件	31件	2件	※新型コロナウイルスの影響により、学外者の構内立入を制限したため、貸出回数は減少した。

Ⅳ 国際交流

1 学生の国際交流

法人の評価	A	理由	新たに学術交流協定を1件締結した。	中期計画 年度計画 運番	92
-------	---	----	-------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

学生レベルの国際交流を充実する

【中期計画】

海外大学からの留学生の受け入れ及び本学学生の海外大学への派遣の増加に努め、学生レベルの国際交流を充実します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
海外大学との学生交流協定(授業料免除を含む)の締結の推進	海外大学との学術交流協定の内容を見直し、適当と思われる協定先があれば協定締結をすすめるなど、質の向上を図る。	・ヴィクトリア大学イングリッシュランゲージセンターと学術交流協定を締結した。(7月)	※新型コロナウイルスの影響により、海外との往来ができず、直接交渉ができなかった。	(国際交流)価値目標1 ・学生の国際交流や協定校との留学生の交換を推進する

◆実績

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
【評価指標】 留学生受入数	交換留学	指標	4人	4人	4人	6人	6人	6人	※前年度から在籍する1人を継続して受入れたが、新型コロナウイルスの影響により、新規の受入れを見送った。
	実績	5人	5人	5人	5人	7人	6人	1人	
短期留学	指標		5人	5人	5人	5人	5人	5人	
	実績	0人	0人	14人	17人	18人	16人	-	
【評価指標】 留学生派遣数	交換留学	指標	2人	2人	2人	3人	3人	3人	※新型コロナウイルスの影響により、本学学生の海外派遣を見送った。
	実績	6人	3人	2人	8人	10人	3人	-	
短期留学	指標		7人	8人	9人	10人	11人	12人	
	実績	7人	13人	6人	10人	13人	27人	-	
【評価指標】連携協定締結校数	指標		8校	8校	9校	9校	10校	10校	新たに学術交流協定を1件締結した。
	実績	7校	9校	12校	15校	17校	17校	18校	



IV 国際交流

1 学生の国際交流

法人の評価	※	理由	新型コロナウイルスの影響により評価困難。	中期計画 年度計画 連番	93
-------	---	----	----------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

学生レベルの国際交流を充実する

【中期計画】

海外大学からの留学生の受け入れ及び本学学生の海外大学への派遣の増加に努め、学生レベルの国際交流を充実します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
海外大学からの留学生に対する住居等環境整備や生活相談等支援制度の充実	・留学生宿舎として民間住宅を借り上げ、家賃補助を実施する。 ・教員と国際交流室が留学生に対する相談を実施する。学生チューターに関しては、海外留学経験者が担当となるように配慮を行う。	・前年度から受け入れを継続している1名に対して、留学生宿舎の借上げ、家賃補助、チューターによる学業生活支援を行った。	※新型コロナウイルスの影響で、新規の交換留学生受け入れを見送った。	(国際交流)価値目標1 ・留学生の派遣と受入の支援体制の充実を図る

◆実績

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
〔評価指標〕 留学生受入数	交換留学	指標	4人	4人	4人	6人	6人	6人	
	実績	5人	5人	5人	5人	7人	6人	1人	
短期留学	指標	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	
	実績	0人	0人	14人	17人	18人	16人	-	
留学生チューター数		5人	7人	7人	7人	9人	8人	1人	
留学生宿舎家賃補助件数		0人	5人	7人	7人	7人	8人	1人	

93

IV 国際交流

1 学生の国際交流

法人の評価	A	理由	実践的な英語力を習得する科目を追加開講した。	中期計画 年度計画 連番	94
-------	---	----	------------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

学生レベルの国際交流を充実する

【中期計画】

海外大学からの留学生の受け入れ及び本学学生の海外大学への派遣の増加に努め、学生レベルの国際交流を充実します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
学生に対する実践的な語学教育の提供	・ネイティブ講師による会話中心の英語の授業及び英語アドバンスによる観光英語・ビジネス英語の授業により実践的な英語を身につけさせる。 ・e-caféにネイティブ講師を招き、実践的な英会話等を実施する。 ・英語スピーチコンテストを実施する。 ・TOEFL試験を実施し、成績優秀者の表彰を行う。(10月に再掲)	・観光英語・ビジネス英語など実践的な英語力を修得する科目を追加開講した。 ・ネイティブ講師を招き、e-caféを毎週火曜日昼休み時に実施(対面/遠隔)し、実践的な英会話の機会を提供した。 ・英語スピーチコンテストを対面型で実施した。(12月、出場学生5名)	※新型コロナウイルスの影響によりTOEFL試験の学内実施を見合わせた。	(教育)価値目標1 ・カリキュラム改革の進展に合わせて、ネイティブ教員が担当する英語の授業の充実を図る

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
ネイティブ講師の開講数	4科目	4科目	4科目	4科目	4科目	4科目	4科目	前年度と同数開講した。

94



IV 国際交流

1 学生の国際交流

法人の評価	※
-------	---

理由	新型コロナウイルスの影響により評価困難。
----	----------------------

中期計画 年度計画 連番	95
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

学生レベルの国際交流を充実する

【中期計画】

海外大学からの留学生の受け入れ及び本学学生の海外大学への派遣の増加に努め、学生レベルの国際交流を充実します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
学生に対する留学相談、情報提供、留学費用助成等留学支援制度の充実	・留学相談、情報提供等本学学生の海外留学を支援する。 ・海外協定校への長期派遣留学生に対して費用助成を実施する。 ・海外インターンシップに関する相談、情報提供等の支援を行う。	・新型コロナウイルスの影響により、対面での留学説明会の開催を見送り、留学関連資料や体験談を学内Webに掲載する形式で説明会を行った。学生からの相談は電話やメール等で随時行った。	※新型コロナウイルスの影響により、本学学生の海外派遣(留学、海外インターンシップ)を見送った。	(国際交流)価値目標1 ・学生の国際交流や協定校との留学生の交換を推進する。 ・留学生の派遣と受入の支援体制の充実を図る

◆実績

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
〔評価指標〕留学生受入数	交換留学	指標	4人	4人	4人	6人	6人	6人	
	短期留学	指標	5人	5人	5人	7人	6人	1人	
	実績	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	
	実績	0人	0人	14人	17人	18人	16人	-	
〔評価指標〕留学生派遣数	交換留学	指標	2人	2人	2人	3人	3人	3人	※新型コロナウイルスの影響により、本学学生の海外派遣を見送った。
	短期留学	指標	6人	3人	2人	8人	10人	3人	
	実績	7人	7人	8人	9人	10人	11人	12人	
	実績	7人	13人	6人	10人	13人	27人	-	
留学説明会件数		-	-	-	-	-	12件	8件	※新型コロナウイルスの影響により、説明会の回数は減少した。

IV 国際交流

1 学生の国際交流

法人の評価	※
-------	---

理由	新型コロナウイルスの影響により評価困難。
----	----------------------

中期計画 年度計画 連番	96
--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

学生レベルの国際交流を充実する

【中期計画】

海外大学からの留学生の受け入れ及び本学学生の海外大学への派遣の増加に努め、学生レベルの国際交流を充実します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
東アジアサマースクールの実施と単位化の検討	東アジア・サマースクールを開催するとともに、教養講義Ⅱ(東アジアと日本)として開講する。	・なし	※新型コロナウイルスの影響により、海外からの入国が出来ないため、東アジア・サマースクールを中止した。  ※東アジア・サマースクールの中止に伴い、「教養講義Ⅱ(東アジアと日本)」は不開講となった。	-

IV 国際交流

2 教員の国際交流

法人の評価	A	理由	新たに学術交流協定を1件締結した。	中期計画 年度計画 進捗	97
-------	---	----	-------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

大学教員と海外の研究者との交流による研究水準の向上

【中期計画】

海外大学との共同研究、共同発表、シンポジウム等を開催し、海外の研究者との交流を深めます。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
海外大学との学術交流協定の締結の推進	海外大学との学術交流協定の内容を見直し、適当と思われる協定先があれば協定締結をすすめるなど、質の向上を図る。(92の再掲)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヴィクトリア大学イングリッシュランゲージセンターと学術交流協定を締結した。(7月)</li> <li>・シンガポールのニースポリテクニク校によるオンラインセミナー「シンガポール：多様性の強み」を開催した。(3月、参加者40名)</li> </ul>	※新型コロナウイルスの影響により、海外との往来ができず、直接交渉ができなかった。	-

◆実績

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
〔評価指標〕共同研究・発表・シンポジウム・共同発表開催数	指標		2回	2回	2回	2回	2回	2回	※オンラインセミナーを1回開催した。
	実績	4回	6回	6回	8回	9回	4回	1回	
〔評価指標〕連携協定締結校数	指標		8校	8校	9校	9校	10校	10校	新たに学術交流協定を1件締結した。
	実績	7校	9校	12校	15校	17校	17校	18校	

IV 国際交流

2 教員の国際交流

法人の評価	A	理由	新たに学術交流協定を1件締結した。	中期計画 年度計画 進捗	98
-------	---	----	-------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

大学教員と海外の研究者との交流による研究水準の向上

【中期計画】

海外大学との共同研究、共同発表、シンポジウム等を開催し、海外の研究者との交流を深めます。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
国際的な学術研究活動に貢献できる研究者の確保、養成及び学内支援体制の整備	海外大学との研究交流等国際的な学術研究活動に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヴィクトリア大学イングリッシュランゲージセンターと学術交流協定を締結した。(7月)</li> <li>・シンガポールのニースポリテクニク校によるオンラインセミナー「シンガポール：多様性の強み」を開催した。(3月、参加者40名)</li> </ul>	※新型コロナウイルスの影響により、海外との往来ができず、直接交渉ができなかった。	〔国際交流〕価値目標1・グローバルな教育研究を推進するため、海外との学術交流の質を高める

◆実績

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
〔評価指標〕共同研究・発表・シンポジウム・共同発表開催数	指標		2回	2回	2回	2回	2回	2回	※オンラインセミナーを1回開催した。
	実績	4回	6回	6回	8回	9回	4回	1回	
〔評価指標〕連携協定締結校数	指標		8校	8校	9校	9校	10校	10校	新たに学術交流協定を1件締結した。
	実績	7校	9校	12校	15校	17校	17校	18校	
海外連携協定校との交流件数		-	-	-	2校	5校	4校	-	※新型コロナウイルスの影響で、実施できなかった。

IV 国際交流

3 国際交流組織体制の整備

法人の評価	※	理由	新型コロナウイルスの影響により評価困難。	中期計画 年度計画 連番	99
-------	---	----	----------------------	--------------------	----

【中期目標】 期待する成果

海外大学との連携を深め、教育及び学術研究の交流を図る

【中期計画】

連携協定等の締結等海外大学との連携を深めるための基盤を整備します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
外国語版ホームページの充実など海外に向けた情報発信	・ホームページの多言語化の内容の充実を図り、海外に向けて情報発信する。 ・改訂版英語リーフレットを作成する。	・ホームページの多言語化の内容の充実について引き続き検討を行っている。	※新型コロナウイルスの影響により、海外向けの広報を控えたため英語リーフレットの作成を中止した。	-

IV 国際交流

3 国際交流組織体制の整備

法人の評価	A	理由	新たに学術交流協定を1件締結した。	中期計画 年度計画 連番	100
-------	---	----	-------------------	--------------------	-----

【中期目標】 期待する成果

海外大学との連携を深め、教育及び学術研究の交流を図る

【中期計画】

連携協定等の締結等海外大学との連携を深めるための基盤を整備します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
海外大学との交流活動に貢献できる教職員の確保、養成	海外大学との研究交流等国際的な学術研究活動に取り組む。(98の再掲)	・ヴィクトリア大学イングリッシュランゲージセンターと学術交流協定を締結した。(7月) ・シンガポールのニールアンポリテクニク校によるオンラインセミナー「シンガポール:多様性の強み」を開催した。(3月、参加者40名)	※新型コロナウイルスの影響により、海外との往来ができず、直接交渉ができなかった。	(国際交流)価値目標1 ・グローバルな教育研究を推進するため、海外との学術交流の質を高める

◆実績

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
【評価指標】共同研究・発表・シンポジウム・共同発表開催数	指標		2回	2回	2回	2回	2回	2回	※オンラインセミナーを1回開催した。
	実績	4回	6回	6回	8回	9回	4回	1回	
【評価指標】連携協定締結校数	指標		8校	8校	9校	9校	10校	10校	新たに学術交流協定を1件締結した。
	実績	7校	9校	12校	15校	17校	17校	18校	
海外連携協定校との交流件数		-	-	-	2校	5校	4校	-	※新型コロナウイルスの影響で、実施できなかった。

V 法人運営【組織運営と人事管理の改革】

1 ガバナンス体制の充実強化

法人の評価	A
-------	---

理由	SD研修会を実施し、職員の資質能力の向上を図った。
----	---------------------------

中期計画 年度計画 連携	101
--------------------	-----

【中期目標】 期待する成果

理事長と学長がリーダーシップを発揮し、効率的な法人運営を図る

【中期計画】

法人及び大学のガバナンス体制を充実強化し、理事長及び学長がリーダーシップを発揮できる環境を整備します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
理事長・学長がリーダーシップを発揮できる法人組織体制の整備	・SD研修会を実施して、職員の資質能力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の資質能力の向上のために、下記2回のSD研修会をオンラインで実施した。</li> <li>9月24日(木) 「大学で働く喜びはどのようにすれば達成できるのか」をテーマにしたグループディスカッション</li> <li>3月26日(金) 「信頼し尊敬しあうチームになり、仕事を楽しく」をテーマにしたグループディスカッション</li> <li>大学運営等に関する学長講演</li> </ul>	・なし	(法人運営)価値目標3 ・計画的にSD研修等を実施し、教職員の意欲や能力、資質の向上を図る

V 法人運営【組織運営と人事管理の改革】

1 ガバナンス体制の充実強化

法人の評価	A
-------	---

理由	重要事項の理事会等での審議のほか、運営調整会議により機動的な法人運営を行った。
----	---

中期計画 年度計画 連携	102
--------------------	-----

【中期目標】 期待する成果

理事長と学長がリーダーシップを発揮し、効率的な法人運営を図る

【中期計画】

法人及び大学のガバナンス体制を充実強化し、理事長及び学長がリーダーシップを発揮できる環境を整備します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
理事長を補佐する理事会等の運営方法の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事会、経営審議会及び教育研究審議会を開催して法人の重要事項を審議する。</li> <li>・機動的な法人運営を行うための調整・情報交換組織として運営調整会議を毎月2回開催する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインを併用しながら理事会、経営審議会および教育研究審議会を各5回開催(うち1回は書面決議)開催し、法人の重要事項について審議を行った。</li> <li>・運営調整会議を毎週開催し、機動的な法人運営を図った。</li> </ul>	・なし	-

V 法人運営【組織運営と人事管理の改革】

1 ガバナンス体制の充実強化

法人の評価	-
-------	---

理由	-
----	---

中期計画 年度計画 連携	103
--------------------	-----

【中期目標】 期待する成果

理事長と学長がリーダーシップを発揮し、効率的な法人運営を図る
--------------------------------

【中期計画】

法人及び大学のガバナンス体制を充実強化し、理事長及び学長がリーダーシップを発揮できる環境を整備します。
---

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
リーダーシップのある学長を選べる選考方法の確立	(平成27年度に完了)	(平成27年度に完了)	-	-

V 法人運営【組織運営と人事管理の改革】

2 同窓会・後援会との連携

法人の評価	A
-------	---

理由	同窓会役員と意見交換を行い、新たな体制づくりを確認した。
----	------------------------------

中期計画 年度計画 連携	104
--------------------	-----

【中期目標】 期待する成果

卒業生や保護者の大学の活動への理解を深め、協力を得る
----------------------------

【中期計画】

同窓会・後援会との連携・交流を強化し、卒業生・保護者が母校愛をもって本学の活動に協力していただける体制づくりに努めます。
--

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
同窓会・後援会との協働事業の実施など連携・交流の強化	同窓会が開催するホームカミングデーに協力するなど、卒業後のネットワーク構築を進める。	・同窓会役員との意見交換会を行い、若手の同窓会会員にも積極的に参加してもらう体制をつくることとした。(7月)	※新型コロナウイルスの影響により、ホームカミングデーの開催が見送られた。	-

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
ホームカミングデー等参加者数	59名	74名	同窓会総会(70名)	78名	58名	同窓会総会(62名)	-	※新型コロナウイルスの影響によりホームカミングデーの開催が見送られた。

V 法人運営【組織運営と人事管理の改革】

2 同窓会・後援会との連携

法人の評価	A
-------	---

理由	後援会役員、同窓会役員と意見交換を行った。
----	-----------------------

中期計画 年度計画 連携	105
--------------------	-----

【中期目標】 期待する成果

卒業生や保護者の大学の活動への理解を深め、協力を得る

【中期計画】

同窓会・後援会との連携・交流を強化し、卒業生・保護者が母校愛をもって本学の活動に協力していただける体制づくりに努めます。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
同窓会・後援会との定期的な意見交換の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同窓会が開催するホームカミングデーに協力する。</li> <li>・後援会役員会で意見交換を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同窓会役員との意見交換会を行い、若手の同窓会会員にも積極的に参加してもらおう体制をつくることとした。(7月)</li> <li>・後援会役員会において、後援会予算の執行などについて後援会役員と意見交換を行った。(6月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※新型コロナウイルスの影響により、ホームカミングデーの開催が見送られた。</li> </ul>	-

V 法人運営【組織運営と人事管理の改革】

2 同窓会・後援会との連携

法人の評価	A
-------	---

理由	同窓会役員と意見交換を行い、新たな体制づくりを確認した。
----	------------------------------

中期計画 年度計画 連携	106
--------------------	-----

【中期目標】 期待する成果

卒業生や保護者の大学の活動への理解を深め、協力を得る

【中期計画】

同窓会・後援会との連携・交流を強化し、卒業生・保護者が母校愛をもって本学の活動に協力していただける体制づくりに努めます。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
同窓会・後援会と教職員・学生の交流を推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同窓会が開催するホームカミングデーに協力するなど、卒業後のネットワーク構築を進める。</li> <li>・学校行事への参加協力を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同窓会役員との意見交換会を行い、若手の同窓会会員にも積極的に参加してもらおう体制をつくることとした。(7月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※新型コロナウイルスの影響により、ホームカミングデーの開催が見送られた。</li> </ul>	-

V 法人運営【組織運営と人事管理の改革】

3 コンプライアンスの確保

法人の評価	-
-------	---

理由	-
----	---

中期計画 年度計画 連携	107
--------------------	-----

【中期目標】 期待する成果

公立大学法人としてコンプライアンスの向上を図る

【中期計画】

コンプライアンスの向上を図りアカウンタビリティを確保するよう組織体制を整えます。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
科学研究費補助金の不正防止及び内部監査のためのコンプライアンス担当部署の体制整備	(平成27年度及び29年度に完了)	(平成27年度及び29年度に完了)	-	(法人運営)価値目標1 ・監事と内部監査組織の連携強化を図り、適切な監査を実施する

V 法人運営【組織運営と人事管理の改革】

3 コンプライアンスの確保

法人の評価	-
-------	---

理由	-
----	---

中期計画 年度計画 連携	108
--------------------	-----

【中期目標】 期待する成果

公立大学法人としてコンプライアンスの向上を図る

【中期計画】

コンプライアンスの向上を図りアカウンタビリティを確保するよう組織体制を整えます。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
セクシュアル・ハラスメントやアカデミック・ハラスメントなど人権侵害を含むコンプライアンス担当部署の体制整備	(平成27年度に完了)	(平成27年度に完了)	-	-

V 法人運営【組織運営と人事管理の改革】

4 危機管理体制の整備

法人の評価	-
-------	---

理由	-
----	---

中期計画 年度計画 連携	109
--------------------	-----

【中期目標】 期待する成果

公立大学法人として必要な危機管理体制の整備を図る

【中期計画】

危機管理に関する計画の策定、体制の整備を行います。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
危機管理計画(防災計画を含む)の策定	(平成30年度に完了)	(平成30年度に完了)	-	-

V 法人運営【組織運営と人事管理の改革】

4 危機管理体制の整備

法人の評価	A
-------	---

理由	行動基準に基づき、新型コロナウイルスに適切に対応した。
----	-----------------------------

中期計画 年度計画 連携	110
--------------------	-----

【中期目標】 期待する成果

公立大学法人として必要な危機管理体制の整備を図る

【中期計画】

危機管理に関する計画の策定、体制の整備を行います。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
法人の各種リスク(不祥事、クレーム対応、事故対応等)について担当責任者、担当組織を明確化して危機管理体制を整備	危機管理体制を推進するため、火災訓練、避難訓練を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス対策にかかる奈良県立大学の「行動基準」を定めた。</li> <li>・感染状況に応じて適宜行動基準を改正(7回)し、適切に対応した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※新型コロナウイルスの影響により、避難訓練及び火災訓練を中止した。</li> </ul>	-



V 法人運営【健全な財務の構築と維持】

5 収入の確保

法人の評価	A	理由	理事会及び経営審議会により、法人の運営方針を決定した。	中期計画 年度計画 連番	111
-------	---	----	-----------------------------	--------------------	-----

【中期目標】 期待する成果

中期目標期間中の安定的な財務状況の維持

【中期計画】

県からの運営費用交付金に加えて外部からの受託事業等独自財源による収入を確保します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
理事会・経営審議会により継続的な法人の経営状況の把握に努め、迅速かつ的確に方針決定	理事会・経営審議会により継続的な法人の経営状況の把握に努め、迅速かつ的確に方針決定を行う。	・オンラインを併用しながら理事会及び経営審議会を各5回開催(うち1回は書面決議)し、決算・予算等を審議するなど、法人の方針決定を行った。	・なし	-

V 法人運営【健全な財務の構築と維持】

5 収入の確保

法人の評価	A	理由	科研費等の独自財源が確保できた。	中期計画 年度計画 連番	112
-------	---	----	------------------	--------------------	-----

【中期目標】 期待する成果

中期目標期間中の安定的な財務状況の維持

【中期計画】

県からの運営費用交付金に加えて外部からの受託事業等独自財源による収入を確保します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
科学研究費補助金、市町村等からの受託事業など独自財源の確保	・科学研究費補助金、市町村等からの受託事業など独自財源の確保に努める。 ・日本労働組合総連合会 奈良県連合会による寄付講座として、教養講義X「働くこととワークルール」を実施する(21の一部再掲)	・下記の独自財源を確保した。 科学研究費補助金 24件、10,250千円 受託事業収入 4件、4,589千円 教育研究支援基金寄附金 12件、1,516千円 ・日本労働組合総連合会 奈良県連合会による寄付講座「教養講義X(働くこととワークルール)」を実施した。 ・地域創造研究センターを設置し、外部資金獲得支援のためURA(1名)を採用することを決定した。	・なし	(法人運営)価値目標2 ・各種外部資金の獲得による安定的な自主財源の確保を図る

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
科学研究費補助金新規申請件数	6件	8件	9件	6件	5件	12件	12件	前年度と同数の申請が行われた。
市町村等からの受託研究数	0件	6件	3件	1件	2件	4件	4件	前年度と同数の受託研究を受け入れた。

V 法人運営【健全な財務の構築と維持】

6 経費の節減

法人の評価	A	理由	理事会及び経営審議会により、法人の運営方針を決定した。	中期計画 年度計画 連携	113
-------	---	----	-----------------------------	--------------------	-----

【中期目標】 期待する成果

中期目標期間中の安定的な財務状況の維持

【中期計画】

人件費等諸経費の節減、抑制に努めます

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
理事会・経営審議会により継続的な法人の経営状況の把握に努め、迅速かつ的確に方針決定	理事会・経営審議会により継続的な法人の経営状況の把握に努め、迅速かつ的確に方針決定を行う。(111の再掲)	・オンラインを併用しながら理事会及び経営審議会を各5回開催(うち1回は書面決議)し、決算・予算等を審議するなど、法人の方針決定を行った。	・なし	(法人運営)価値目標2 ・事務の効率化等を図りながら、適切な予算配分と目的積立金の効果的な活用により、健全な財政を維持する

V 法人運営【健全な財務の構築と維持】

6 経費の節減

法人の評価	A	理由	各種システムの導入、運用により業務の効率化を図った。	中期計画 年度計画 連携	114
-------	---	----	----------------------------	--------------------	-----

【中期目標】 期待する成果

中期目標期間中の安定的な財務状況の維持

【中期計画】

人件費等諸経費の節減、抑制に努めます

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
アウトソーシングの導入など人件費など諸経費の節減、抑制	アウトソーシングの導入など事務の効率化を推進する。	・人事給与システム、財務会計システム、教務システム、旅費システムを継続して運用した。 ・業務効率化のために、令和4年度入試からのWeb出願システムの導入作業に着手した。 ・新型コロナウイルスの影響による遠隔授業の実施のために、クラウド型教育支援サービスmanabaを導入した。	・なし	-

V 法人運営【健全な財務の構築と維持】

7 業務の効率化

法人の評価	A	理由	各種システムの導入、運用により業務の効率化を図った。	中期計画 年度計画 連携	115
-------	---	----	----------------------------	--------------------	-----

【中期目標】 期待する成果

効率的・効果的な大学経営に努める

【中期計画】

各種システムの導入やアウトソーシングを積極的に推進して業務の効率化努めます。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
各種システム(学務システム等)の導入、アウトソーシング等による業務の効率化	・アウトソーシングの導入など事務の効率化を推進する。(114の再掲) ・e-tax、el-taxの導入により事務の効率化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>人事給与システム、財務会計システム、教務システム、旅費システムを継続して運用した。</li> <li>業務効率化のために、令和4年度入試からのWeb出願システムの導入作業に着手した。</li> <li>新型コロナウイルスの影響による遠隔授業の実施のために、クラウド型教育支援サービスmanabaを導入した。</li> <li>国税等を、新たにe-tax等を利用して納付した。</li> </ul>	なし	(法人運営)価値目標3 ・外部委託や各種システムを積極的に活用し業務の効率性の向上を図る

V 法人運営【法人の自己点検・評価及び情報公開の推進】

8 法人の自己点検・評価

法人の評価	A	理由	自己評価等を行うとともに、第2期中期計画を策定した。	中期計画 年度計画 連携	116
-------	---	----	----------------------------	--------------------	-----

【中期目標】 期待する成果

県民に信頼される法人運営を行う

【中期計画】

定期的に自己点検・評価を実施するとともに、平成29年度に大学機関別認証評価を受審します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
計画・評価委員会を活用して定期的に自己点検・評価を実施	計画・評価委員会で平成31年度及び令和2年度年度計画の自己評価を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年度年度計画の自己評価を実施した。(6月)</li> <li>令和2年度年度計画の中間点検を実施した。(8月)</li> <li>第1期期間中の実績および評価結果を踏まえ、県と意見交換を行いながら、第2期中期計画を策定した。</li> </ul>	なし	(法人運営)価値目標1 ・法人運営についての自己点検・評価を実施・公表し、業務運営の改善に繋げる

V 法人運営【法人の自己点検・評価及び情報公開の推進】

8 法人の自己点検・評価

法人の評価	—	理由	—	中期計画 年度計画 連携	117
-------	---	----	---	--------------------	-----

【中期目標】 期待する成果

県民に信頼される法人運営を行う

【中期計画】

定期的に自己点検・評価を実施するとともに、平成29年度に大学機関別認証評価を受審します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
平成29年度に大学機関別認証評価を受審	(平成29年度に完了。事後措置も平成30年度に完了)	(平成29年度に完了。事後措置も平成30年度に完了)	—	(法人運営)価値目標1 ・大学機関別認証評価を受審し、評価結果を大学改善に活用する

V 法人運営【法人の自己点検・評価及び情報公開の推進】

9 法人情報の公開の推進

法人の評価	A	理由	ホームページを利用した情報発信を積極的に行ったため。	中期計画 年度計画 連携	118
-------	---	----	----------------------------	--------------------	-----

【中期目標】 期待する成果

県民に信頼される法人運営を行う

【中期計画】

法人ホームページ等を通じて積極的に法人の情報を発信します。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
ホームページの内容を定期的に見直し、法定公表情報以外の情報(法人が制定する各種規程等)についても積極的な掲載を推進	法人ホームページを随時更新するとともに、法定公表情報以外の情報(法人が制定する各種規程等)についても積極的な掲載を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人ホームページを随時更新した。</li> <li>法定公表情報以外の情報(法人が制定する各種規程等)も随時更新し掲載した。</li> <li>大学ホームページ内に、「メディアで見る奈良県立大学」のページを設け、学内外への情報発信を行った。(26件掲載)</li> </ul>	なし	(法人運営)価値目標1 ・教育研究活動に係る情報や財務情報等を積極的に公開する

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
各種規程等の掲載数	(法人化前)	51	57	59	64	82	114	改正等があれば随時更新し、掲載した。

V 法人運営【法人の自己点検・評価及び情報公開の推進】

10 情報発信体制の強化

法人の評価	A
-------	---

理由	必要数を発行、配布した。
----	--------------

中期計画 年度計画 連番	119
--------------------	-----

【中期目標】 期待する成果

大学の認知度の向上、ブランドイメージの向上

【中期計画】

積極的な情報戦略を展開して、大学の認知度の向上、ブランドイメージの向上を図ります。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
〔(仮称)奈良県立大学キャンパスジャーナル〕の発行	大学広報誌「Narapu」を年2回発行する。	・大学広報誌「Narapu」(第5号)を10月に発行し、学生の出身高校や連携協定先、自治体等に配布した。(5,000部)	・なし	(法人運営)価値目標4 ・大学活動の取組・成果の発信を充実するとともに、創立70周年を契機とした戦略的な広報を推進する

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
大学広報誌の発行回数	3回	3回	3回	3回	2回	2回	1回	第6号(後期号)は、3月発行予定を新入生向けに4月1日発行に変更したため、年度内の発行回数は減少した。

V 法人運営【法人の自己点検・評価及び情報公開の推進】

10 情報発信体制の強化

法人の評価	A
-------	---

理由	オンラインを活用するなど、積極的な情報発信を行った。
----	----------------------------

中期計画 年度計画 連番	120
--------------------	-----

【中期目標】 期待する成果

大学の認知度の向上、ブランドイメージの向上

【中期計画】

積極的な情報戦略を展開して、大学の認知度の向上、ブランドイメージの向上を図ります。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
新たな大学の「ブランドイメージの構築」に向けた「戦略的広報」の実施	広報戦略に基づき施策を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンキャンパス及び大学説明会に関する情報を、大学ホームページ、新聞広告、オープンキャンパス情報サイト、県広報誌、大学案内、ラジオにより発信した。</li> <li>・大学広報誌「Narapu」(第5号)を10月に発行し、学生の出身高校や連携協定先、自治体等に配布した。(5,000部)</li> <li>・大学ホームページ内に、「メディアで見る奈良県立大学」のページを設け、学内外への情報発信を行った。(26件掲載)</li> <li>・報道機関向けのコモンズ棟内覧会を開催した。(9月)</li> </ul>	※新型コロナウイルスの影響により、県民講座等のイベントは中止した。	(法人運営)価値目標4 ・大学活動の取組・成果の発信を充実するとともに、創立70周年を契機とした戦略的な広報を推進する

V 法人運営【法人の自己点検・評価及び情報公開の推進】

10 情報発信体制の強化

法人の評価	A	理由	オンラインを活用するなど、積極的な情報発信を行った。	中期計画 年度計画 連携	121
-------	---	----	----------------------------	--------------------	-----

【中期目標】 期待する成果

大学の認知度の向上、ブランドイメージの向上

【中期計画】

積極的な情報戦略を展開して、大学の認知度の向上、ブランドイメージの向上を図ります。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
メディアへの積極的な情報提供等による大学の認知度の向上	メディアへの積極的な情報提供等により大学の認知度の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンキャンパス及び大学説明会に関する情報を、大学ホームページ、新聞広告、オープンキャンパス情報サイト、県広報誌、大学案内、ラジオにより発信した。</li> <li>・大学広報誌『Narapu』（第5号）を10月に発行し、学生の出身高校や連携協定先、自治体等に配布した。（5,000部）</li> <li>・大学ホームページ内に、「メディアで見る奈良県立大学」のページを設け、学内外への情報発信を行った。（26件掲載）</li> <li>・報道機関向けのCOMONS棟内覧会を開催した。（9月）</li> </ul>	・なし	(法人運営)価値目標4 ・大学活動の取組・成果の発信を充実するとともに、創立70周年を契機とした戦略的な広報を推進する

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析	
〔評価指標〕メディア掲載件数	指標		55件	56件	57件	58件	59件	60件	前年度と同程度の掲載件数となった。
	実績	52件	73件	78件	82件	76件	80件	83件	

121

V 法人運営【法人の自己点検・評価及び情報公開の推進】

10 情報発信体制の強化

法人の評価	A	理由	ホームページやオープンキャンパス等により、学生確保への取り組みを行った。	中期計画 年度計画 連携	122
-------	---	----	--------------------------------------	--------------------	-----

【中期目標】 期待する成果

大学の認知度の向上、ブランドイメージの向上

【中期計画】

積極的な情報戦略を展開して、大学の認知度の向上、ブランドイメージの向上を図ります。

中期計画の取組項目	年度計画の取組項目	法人自己評価		第2期中期計画における取組
		令和2年度計画において、「進捗した取組」	令和2年度計画において、「進捗しなかった取組」	
県内高校生に向け県立大学の教育内容のPRを行い、県内受験生を増やす取り組みを進める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内高校に対して学長等による高校訪問を実施する。</li> <li>・県内高校の訪問や模擬講義を実施すること等により、県内高校生の受験者の増加に努める。（15の再掲）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※オンラインで実施したオープンキャンパスにおいて動画による模擬講義(5件)を公開した。(8月)</li> <li>※予約制の大学説明会で模擬講義(2回)を実施した。(10月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※新型コロナウイルスの影響により、高校訪問を中止した</li> </ul>	(法人運営)価値目標4 ・オープンキャンパスや高校訪問など積極的かつ効果的な広報活動により、アドミッション・ポリシーにかなう学生を確保する

◆実績

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	実績の現状分析
県内受験者数	138人	125人	108人	106人	143人	80人	73人	受験者総数は減少したが、県内受験者は前年度とほぼ同程度であった。

122

【資料】 中期目標に定められた評価指標一覧

1 教育

① 教育内容の充実

1 対話型少人数教育(学習コモンズシステム)の導入・充実

◆指標内容:学生の成長度 入学時より能力が増えた4年生の割合(分析力や問題解決能力)

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
分析力や問題解決能力	指標		82.5%	84.0%	85.5%	87.0%	88.5%	90.0%	第1期中期計画が始まる前に比べてほとんど変わりがなく、さらなる学生へのサポートが必要である。
	実績	82.2%	85.7%	75.7%	82.2%	78.3%	78.6%	82.4%	
コミュニケーションの能力	指標		82.5%	84.0%	85.5%	87.0%	88.5%	90.0%	第1期中期計画が始まる前に比べてほとんど変わりがなく、さらなる学生へのサポートが必要である。
	実績	82.2%	83.3%	72.8%	78.2%	74.3%	80.9%	82.5%	
プレゼンテーションの能力	指標		82.5%	84.0%	85.5%	87.0%	88.5%	90.0%	第1期中期計画が始まる前に比べて改善しているが、さらなる学生へのサポートが必要である。
	実績	74.0%	79.4%	66.0%	73.3%	75.6%	82.0%	82.4%	

2 フィールドワークを通じた実践型教育の導入・充実

◆評価指標:実習件数、実習参加延べ学生数

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
件数	指標	-	400件	800件	1,200件	1,200件	1,200件	1,200件	※新型コロナウイルスの影響により、実施件数は減少した。
	実績	-	214件	948件	2,195件	2,200件	2,033件	133件	
学生数	指標	-	400人	800人	1,200人	1,200人	1,200人	1,200人	※新型コロナウイルスの影響により、参加学生数は減少した。
	実績	-	214人	948人	2,195人	2,200人	2,033人	133人	

3 リベラルアーツ教育の充実

◆評価指標:リベラルアーツ科目数

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
リベラルアーツ科目数	指標		19科目	20科目	20科目	21科目	21科目	22科目	科目数は1科目増え、目標を上回っている。
	実績	19科目	21科目	25科目	26科目	32科目	36科目	37科目	

4 高度な語学教育の提供

◆評価指標:TOEFLiBT65点以上の学生が全学生に占める割合

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
TOEFLiBT65点以上の学生が全学生に占める割合	指標		5%	8%	11%	14%	17%	20%	割合は低いまま推移しており指標には届いていないが、学生の外国語習得に向けたカリキュラム対応を行っている。
	実績	3%	3%	4%	3%	3%	3%	4%	

TOEFLiBT65点に相当する点数: TOEIC600点、TOEFL CBT183点、TOEFL PBT513点

② 学生への支援

5 意欲ある学生の確保

◆評価指標:大学PRのための高校への説明件数、入学志願倍率

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
高校への説明件数	指標		65件	68件	71件	74件	77件	80件	※新型コロナウイルスの影響により、高校訪問を中止した。
	実績	56件	71件	86件	77件	65件	53件	-	
入学志願倍率	指標		8.8倍	9.1倍	9.3倍	9.5倍	9.8倍	10.0倍	※新型コロナウイルスや入試環境の変化などの影響を受け、増加傾向にあった志願倍率がR2では下降した。
	実績	8.6倍	8.2倍	7.7倍	7.1倍	9.2倍	9.4倍	6.6倍	

6 教育内容の評価 (教員の評価とカリキュラムの評価)

◆評価指標:教育内容に不満な学生の割合(学生による教育評価)

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
教育内容に不満な学生の割合(学生による教育評価)	指標		18.5%	17.0%	15.5%	14.0%	12.0%	10.0%	※新型コロナウイルスの影響で対面授業が受けられないことへの不満など、様々な意見が寄せられた。
	実績	19.8%	28.3%	35.9%	39.2%	23.6%	18.3%	17.0%	

7 学生のキャリアサポートの充実

◆評価指標:就職率

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
就職率	指標		全国平均より高い就職率を維持						※新型コロナウイルスの影響により、就職活動の環境変化や希望職種を変更する学生がいたが、ほぼ全国平均(96.0%)と同程度の就職率であった。
	実績	100%	97.7%	97.3%	94.4%	96.6%	97.1%	95.2%	
就職サポートに不満な学生の割合	指標		23%	21%	19%	17%	15%	13%	※新型コロナウイルスの影響による就職活動の環境変化などの不安から、様々な意見が寄せられた。
	実績	25%	24%	23%	33%	19%	25%	21%	
リカレント相談件数	指標		実施に向けて検討・準備						10件
	実績	実績なし	-	-	-	4件	4件	-	
企業訪問件数	指標		42件	44件	46件	48件	50件	50件	※新型コロナウイルスの影響により、活動に制限が生じた。
	実績	32件	10件	46件	51件	55件	60件	7件	

8 学生生活へのサポート

◆評価指標:中退率及び留年率

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
中退率	指標		0.7%	0.6%	0.5%	0.4%	0.2%	0.0%	中退率は前年度と同じ0.6%であった。
	実績	1.1%	0.5%	0.5%	0.9%	0.7%	0.6%	0.6%	
留年率	指標		2.0%	1.6%	1.2%	0.8%	0.4%	0.0%	留年率は前年度を下回った。
	実績	3.7%	3.8%	2.6%	2.2%	2.3%	2.8%	2.1%	



③ 教育を支える施設整備

9 学生の学習意欲及び教育効果の向上を図るキャンパス整備

◆評価指標:施設整備構想の進捗状況

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
施設整備計画	指標		コモンズ教室8室・学生会館・ラーニングコモンズ整備						予定どおりコモンズ棟が竣工した。県担当課とともに、整備計画の見直しを行った。
	実績	未整備	地域交流棟竣工	県基本計画策定	コモンズ棟基本設計	コモンズ棟実施設計	コモンズ棟建設	コモンズ棟竣工施設整備計画見直し着手	

10 図書館機能の充実・強化

◆評価指標:蔵書数、図書館利用人数、図書館貸出冊数

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
蔵書数	指標		104,600冊	107,500冊	110,400冊	113,300冊	116,200冊	119,100冊	新たに3千冊余の蔵書が増えた。
	実績	107,360冊	109,432冊	111,017冊	112,788冊	114,140冊	114,869冊	118,017冊	
図書館利用人数	指標		16,300人	17,300人	18,300人	19,300人	20,300人	21,300人	※新型コロナウイルスの影響により、学生の登校自粛や学外者の学内立ち入り制限を行ったため、利用人数は減少した。
	実績	18,701人	18,966人	18,108人	19,184人	21,711人	18,934人	6,301人	
図書館貸出冊数	指標		5,900冊	6,100冊	6,200冊	6,400冊	6,500冊	6,700冊	※新型コロナウイルスの影響により、学生の登校自粛や学外者の学内立ち入り制限を行ったため、貸出冊数は減少した。
	実績	6,643冊	7,776冊	7,527冊	11,606冊	14,094冊	11,447冊	2,565冊	

II 研究

1 対話型少人数教育(学習コモンズシステム)の導入・充実

◆評価指標:科学研究費補助金の採択件数

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
科学研究費補助金の採択件数	指標		10件	10件	11件	11件	12件	12件	共同研究員制度の導入など、研究支援の成果が現れ、延べ採択件数が増加した。
	実績	21件	25件	21件	16件	12件	16件	24件	

2 課題解決に寄与する研究活動の推進

◆評価指標:学術論文相当、学会発表等件数

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
学術論文相当	指標		33件	33件	33件	33件	33件	33件	研究成果の発信を行った。
	実績	37件	19件	18件	23件	35件	30件	33件	
学会発表等	指標		33件	33件	33件	33件	33件	33件	研究成果の発信を行った。
	実績	88件	36件	23件	32件	38件	33件	25件	

3 奈良とユーラシアに関する研究活動の推進

◆評価指標:研究成果に関する講演会、セミナー、シンポジウムの実施回数

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
研究成果に関する講演会、セミナー、シンポジウムの実施回数	指標		2回	2回	2回	2回	2回	2回	※新型コロナウイルスの影響により、フォーラムおよび公開講座は中止した。
	実績	未実施	1回	2回	2回	3回	2回	-	

III 地域貢献 ① 教育関連

1 幅広い知識と実践力を持つ優れた人材の育成

◆評価指標:学生の成長度 入学時より能力が増えた4年生の割合(分析力や問題解決能力)

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
分析力や問題解決能力	指標		82.5%	84.0%	85.5%	87.0%	88.5%	90.0%	第1期中期計画が始まる前に比べてほとんど変わりがなく、さらなる学生へのサポートが必要である。
	実績	82.2%	85.7%	75.7%	82.2%	78.3%	78.6%	82.4%	
コミュニケーションの能力	指標		82.5%	84.0%	85.5%	87.0%	88.5%	90.0%	第1期中期計画が始まる前に比べてほとんど変わりがなく、さらなる学生へのサポートが必要である。
	実績	82.2%	83.3%	72.8%	78.2%	74.3%	80.9%	82.5%	
プレゼンテーションの能力	指標		82.5%	84.0%	85.5%	87.0%	88.5%	90.0%	第1期中期計画が始まる前に比べて改善しているが、さらなる学生へのサポートが必要である。
	実績	74.0%	79.4%	66.0%	73.3%	75.6%	82.0%	82.4%	

2 奈良の魅力を全国に発信できる人材の育成

◆評価指標:奈良に関する教育科目に不満な学生の割合(学生による教育評価)

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
奈良に関する教育科目に不満な学生の割合(学生による教育評価)	指標		5.5%	5.0%	4.5%	4.0%	3.5%	3.0%	不満な学生の割合はわずかに減少したが、奈良の魅力を伝える科目の更なる充実を図る必要がある。
	実績	6.2%	5.4%	4.8%	6.3%	11.3%	12.8%	10.7%	

3 奈良の魅力を全国に発信できる人材の育成

◆評価指標:高大連携事業による実施校数

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
高大連携事業による実施校数	指標		3校	3校	3校	4校	4校	4校	※新型コロナウイルスの影響はあったが、実施校数はほぼ前年度と同じであった。
	実績	3校	3校	3校	3校	5校	4校	3校	



4 県民に対する生涯学習の機会の提供

◆評価指標: 県民に対する生涯学習の機会の提供

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
県民(市民)講座開催回数	指標		年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	※新型コロナウイルスの影響により、県民講座の開催を見送った。
	実績	年2回	年2回	年2回	年3回	年3回	年2回	-	
県民(市民)講座受講者数	指標		200人	210人	220人	230人	240人	250人	※新型コロナウイルスの影響により、県民講座の開催を見送った。
	実績	30人	115人	209人	157人	418人	150人	-	
出前講座開催回数	指標		6回	6回	7回	7回	8回	8回	※新型コロナウイルスの影響により、開催回数は減少した。
	実績	3回	6回	7回	9回	9回	15回	5回	
出前講座受講者数	指標		260人	280人	300人	320人	340人	360人	※新型コロナウイルスの影響により、受講者数は減少した。
	実績	126人	510人	347人	569人	448人	1,168人	466人	
シニアカレッジ受講者数	指標		600人	600人	600人	600人	600人	600人	※新型コロナウイルスの影響により、事業を中止した。
	実績	492人	647人	811人	817人	1,016人	1,334人	-	

5 社会人の学び直しの機会の提供

◆評価指標: フレックス(夜間)コースの検討状況

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
公立大学法人化後検討開始	指標			フレックス(夜間)コースの検討	基本方針決定	着手			(平成31年度完了)
	実績	-	情報収集	検討	検討	検討	方針決定	-	

② 研究関連

6 地域創造データベースの構築、活用及び提供

◆評価指標: オンラインデータ数

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
オンラインデータ数	指標		80件	140件	200件	270件	340件	420件	リポジトリへの論文等の登録数が増加した。
	実績	-	238件	361件	435件	1,490件	1,543件	1,593件	

7 大学・地域の協働による課題解決型プロジェクトの推進

◆評価指標: 協働プロジェクトの取組実績(6年間の累計)

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
協働プロジェクトの取組実績	指標		15件	17件	19件	21件	23件	25件	※新型コロナウイルスの影響により、実施件数は減少した。
	実績	9件	43件	44件	38件	25件	29件	21件	

8 研究成果等の地域への還元

◆評価指標: 研究会・シンポジウム開催回数、参加者数

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
開催回数	指標		13件	13件	13件	13件	13件	13件	※新型コロナウイルスの影響により、開催回数は減少した。
	実績	月1回以下	47件	58件	54件	70件	44件	17件	
参加者数	指標		150人	150人	150人	150人	150人	150人	※新型コロナウイルスの影響により、参加者数は減少した。
	実績	約10人~15人	2,325人	3,510人	2,199人	4,270人	3,300人	1,045人	

③ 地域交流関連

9 学生の地域貢献

◆評価指標: 学生の地域貢献活動参加数(学生アンケートによる)(例: 地域行事への参加数、ボランティアへの参加数)

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
学生の地域貢献活動参加数	指標		延べ150人	延べ300人	延べ450人	延べ600人	延べ600人	延べ600人	※新型コロナウイルスの影響により、参加学生数が減少した。
	実績	延べ131人	235人	225人	239人	195人	205人	53人	

10 奈良県のニーズに対応した地域貢献活動

◆評価指標: 県内の自治体、地域団体、NPO等連携協定数

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
県内の自治体、地域団体、NPO等連携協定数	指標		18件	19件	20件	21件	22件	23件	新たな協定締結はなかった。
	実績	17件	21件	22件	27件	29件	29件	29件	

11 地域交流拠点の活用(協働サロン等)

◆評価指標: 協働サロン利用状況、地域サテライト利用状況(延べ人数)

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
協働サロン	指標		150人	210人	270人	330人	390人	450人	※新型コロナウイルスの影響により、学外者の構内立入を制限したため、利用者は減少した。
	実績	804人	706人	975人	682人	995人	650人	128人	
地域サテライト	指標		60人	70人	90人	110人	130人	150人	(平成29年度まで)
	実績	330人	144人	97人	70人	-	-	-	

12 地域に開かれたキャンパスづくり(施設の開放)

◆評価指標

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
図書館利用者数(学外者)	指標		2,150人	2,220人	2,290人	2,360人	2,430人	2,500人	※新型コロナウイルスの影響により、学外者の利用を休止したため、利用者数は減少した。
	実績	2,374人	2,060人	2,007人	2,104人	2,382人	1,299人	-	
県民(市民)講座受講者数	指標		150人	210人	220人	230人	240人	250人	※新型コロナウイルスの影響により、県民講座の開催を見送った。
	実績	30人	115人	209人	157人	418人	150人	-	
協働サロン利用者数	指標		150人	210人	270人	330人	390人	450人	※新型コロナウイルスの影響により、学外者の構内立入を制限したため、利用者は減少した。
	実績	804人	706人	975人	682人	995人	650人	128人	
地域サテライト利用者数	指標		60人	70人	90人	110人	130人	150人	(平成29年度まで)
	実績	330人	144人	97人	57人	-	-	-	

IV 国際交流

1 学生の国際交流

◆評価指標

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析	
留学生受入数	交換留学	指標		4人	4人	4人	6人	6人	6人	※前年度から在籍する1人を継続して受入れたが、新型コロナウイルスの影響により、新規の受入れを見送った。
		実績	5人	5人	5人	5人	7人	6人	1人	
	短期留学	指標		5人	5人	5人	5人	5人	5人	
		実績	0人	0人	14人	17人	18人	16人	-	
留学生派遣数	交換留学	指標		2人	2人	2人	3人	3人	3人	※新型コロナウイルスの影響により、本学学生の海外派遣を見送った。
		実績	6人	3人	2人	8人	10人	3人	-	
	短期留学	指標		7人	8人	9人	10人	11人	12人	
		実績	7人	13人	6人	10人	13人	27人	-	
海外フィールドワーク参加学生数	指標		8人	8人	8人	8人	9人	9人	※新型コロナウイルスの影響により、実施しなかった。	
	実績	0人	12人	12人	38人	26人	30人	-		

2 教員の国際交流

◆評価指標:共同研究・発表・シンポジウム・共同発表開催数

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
共同研究・発表・シンポジウム・共同発表開催数	指標		2回	2回	2回	2回	2回	2回	令和3年3月にシンガポールのニースポリティクス校によるオンラインセミナーを開催した。
	実績	4回	6回	6回	8回	9回	4回	1回	

3 国際交流組織体制の整備

◆評価指標:連携協定締結校数(累計)

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
連携協定締結校数(累計)	指標		8校	8校	9校	9校	10校	10校	令和2年7月にヴィクトリア大学イングリッシュランゲージセンターと学術交流協定を締結した。
	実績	7校	9校	12校	15校	17校	17校	18校	

V 法人運営 ① 組織運営と人事管理の改革

1 ガバナンス体制の充実強化

◆評価指標:外部評価結果

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
外部評価結果	指標	-	中期目標期間を通じて高い評価結果を維持						中期目標・中期計画の達成に向け概ね順調に進んでいると評価されている。
	実績		概ね順調	概ね順調	概ね順調	順調	概ね順調		

2 同窓会・後援会との連携

◆評価指標:本学に不満な保護者の割合(保護者アンケート)

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
本学に不満な保護者の割合(保護者アンケート)	指標		15%	14%	13%	11%	9.5%	8%	※新型コロナウイルスに関する対応について、様々な意見が寄せられた。
	実績	16%	13%	9%	10%	21%	6%	14%	

3 コンプライアンスの確保

◆評価指標:コンプライアンス担当組織の整備状況

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
コンプライアンス担当組織の整備状況	指標		法人組織において必要なコンプライアンス担当組織を整備						(平成27年度完了)
	実績	一部整備	整備済	整備済	整備済	整備済	整備済	整備済	

4 危機管理体制の整備

◆評価指標:危機管理体制の整備状況

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
危機管理体制の整備状況	指標		法人組織において必要な危機管理体制を整備						(平成30年度完了)
	実績	未整備	未整備	整備着手	対応策策定中	整備済	整備済	整備済	

② 健全な財務の構築と維持

5 収入の確保

◆評価指標:繰越金の額

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
繰越金の額	指標	法人化前	中期目標期間を通じて繰越金の額がプラスの状態を維持						全ての年度において繰越金がプラスの状況を維持しており、財務は健全である。
	実績		19,835千円	58,142千円	38,293千円	11,768千円	30,329千円	93,303千円	

6 経費の節減  
◆評価指標 繰越金の額

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
繰越金の額	指標	法人化前	中期目標期間を通じて繰越金の額がプラスの状態を維持						経費節減に努めた結果、全ての年度において繰越金がプラスの状況を維持した。
	実績		19,835千円	58,142千円	38,293千円	11,768千円	30,329千円	93,303千円	

7 業務の効率化  
◆評価指標 業務効率化の取組状況

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
業務効率化の取組状況	指標		定期的に業務の見直し、効率化を実施						旅費システム、教務システム等を導入し、効率化を実施している。
	実績	システム導入準備	一部を除いて導入済			教務システム導入	導入済	導入済	

③ 法人の自己点検・評価及び情報公開の推進

8 法人の自己点検・評価

◆評価指標

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
自己点検・評価の実施状況	指標	-	定期的に自己点検・評価を実施						平成31年度実績について、自己評価を実施した。令和2年度上半期を対象とした中間点検を実施した。
	実績		H28年度実施	H29年度実施	H30年度実施	H31年度実施	R2年度実施	(R3年度実施)	

9 法人情報の公開の推進

◆評価指標

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
情報公開の状況	指標	-	ホームページにおいて公表する情報を充実						逐次、情報を公開している。
	実績		-	公表	公表	公表	公表	公表	

10 情報発信体制の強化

◆評価指標

項目		H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	評価指標の現状分析
メディア掲載件数	指標		55件	56件	57件	58件	59件	60件	前年度と同程度の掲載件数となった。
	実績	52件	73件	78件	82件	76件	80件	83件	

## 令和2年度新型コロナウイルス感染症対策について

### 教育

#### ○ 授業の実施形態

##### ー前期の授業

- ・全ての授業を遠隔で実施
- ※ゼミ授業については、6月以降対面授業を可能とした

##### ー後期の授業

- ・10月1日～12月14日  
新型コロナウイルスの感染状況及び学生への意向調査（8月実施）を踏まえて決定
  - ・講義授業は対面（火・木）と遠隔（月・水・金）を併用
  - ゼミ授業は原則対面とし、火・木に集中実施
  - ※ゼミ・講義とも、学生の希望により遠隔授業の選択可能
  - ・遠隔授業については、Zoomによる同期型授業を推奨
- ・12月15日～  
感染者急増の状況等を踏まえ、以下のように変更
  - ・講義授業は全て遠隔
  - ゼミ授業は原則遠隔（担当教員がゼミ毎に判断）

#### ○ 学生への支援（教学面）

##### ーmanaba等を活用した遠隔授業の実施

- ・学生の学修環境を確保するために「クラウド型教育支援サービス『manaba』」を導入し、全ての授業を遠隔により実施（4/22～）  
（参考）「manaba」の主な機能  
学生への講義資料の提示、お知らせ、掲示板での質問、出席管理、小テスト（自動採点・手動採点・ドリル）、グループワーク、レポート提出、ポートフォリオ機能 等
- ・双方向授業実施のため、ビデオ会議システム「Zoom」有料アカウントを専任教員と語学教員計39名に付与（5/14）

##### ー大学HPの機能の追加・メールシステムの増強等

- ・アクセス集中に対応できるよう、学内メールシステムの同時アクセス数の上限を拡大（4/14）
- ・学内関係者（学生・教職員等）向けの情報等を集約し学生・教職員だけが閲覧できる「学内WEB」ページを開設（4/20）

##### ー学生の生活状況やオンライン環境等の把握

- ・コロナ禍での学生の生活・通学・IT環境等実態を把握するため全学生を対象とするアンケート調査を実施（4/13～16）  
寄せられた意見・質問とその回答の一覧を学内WEB等に掲載（4/20）
- ・IT環境に不安を抱える学生に対し、個別に聞き取り調査（4/24～27）
- ・生活困窮を訴える学生に対し個別に連絡をとり、状況確認（5/12～14）
- ・前期の遠隔授業を振り返り、今後の学生の学びの最大化を図るため、アンケート調査を実施（8月）

##### ー上記調査の結果等に基づく学びの支援

- ・後期授業の実施形態の検討において、4月および8月のアンケート調査の結果を活用
- ・IT環境不足で遠隔授業の受講が困難な学生にノートPC・Wi-Fiルータを貸与（実績）ノートPC 14人、Wi-Fiルータ 21人
- ・構内でも遠隔授業が受講できるよう、ノートPCの構内貸出（46件）を実施
- ・構内の建物全てでWi-Fi接続が可能になるよう整備
- ・遠隔授業を受講できる自習室の増設（4カ所）
- ・講義資料等を印刷するためのプリンターの設置（3台）

##### ー学生・保護者を対象とする大学への問い合わせ窓口の設置

- ・「履修関係」「その他生活全般」の2つのメール問合せ窓口を設置（4/20）
- ・履修登録期間に、教員が電話で「履修相談会」を実施（4/22～24）

##### ー学年末休業期間中のメンタル・カウンセリングの実施

- ・学生が長期にわたり登校しない（できない）状況を受け、これまで授業期間中のみ実施していたメンタル・カウンセリングを学年末休業期間中も実施  
相談日時：調整のうえ随時 相談方法：オンライン（Zoom）

##### ー図書館利用の推進

- ・登校しない（できない）学生に対し、図書の貸出・返却を郵送で実施
- ・図書の返却期限を延長（通常は2週間だが、登校状況により学期末まで延長）

#### ○ 学生への支援（経済面）

##### ー「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』の受給支援

- ・コロナ禍によるアルバイト収入の大幅な減少により修学の継続が困難となっている学生等に定額（20万円若しくは10万円）が給付される国制度の学

生への周知、申請の受付・審査、日本学生支援機構への推薦などの支援事務を実施。支給要件をわかりやすく周知し、きめ細かく個別に対応したことにより必要とする学生全員に支給  
(実績) 106人 計13,800千円

#### －国の「高等教育の修学支援制度」に基づく授業料減免

- ・前学期の措置に引き続き、修学にあたり真に経済的支援が必要な低所得者世帯の学生に対して授業料等減免を実施  
(実績) 入学金：28人 減免額 6,086千円  
前期 授業料：95人 減免額20,688千円  
後期 授業料：97人 減免額19,646千円

#### －【本学独自支援】「学生生活応援金」の支給 (6/22～)

- ・「学生支援緊急給付金」の対象外であって、経済的に困窮し修学の継続に支障が生じる学生に、本学独自に5万円を支給  
(実績) 前期 42人 2,100千円  
後期 39人 1,950千円

### ○ 学生への支援（キャリアサポート）

#### －遠隔による就職活動支援

- ・Facebookを活用した就職情報の提供
- ・Web面接への対応など、面接相談・指導の遠隔実施
- ・オンラインで「就職対策講座」を実施（前期）
- ・対面とオンラインを併用して「就職対策講座」を実施（後期）
- ・「公務員講座」「旅行業務取扱管理者講座」を遠隔実施（5月～：大学生協主催）

#### －「保護者対象就職説明会」の開催（主に3年生の保護者を対象）

- ・就職活動の現況と今後の展望及び本学の就労支援に関する説明会をオンラインで開催（11/14）
- ・説明会動画を希望者にオンデマンド配信（12/4～25）

#### －「学内業界・業種研究会」の開催（主に3年生対象）

- ・企業との直接対話・交流を通じて業界や企業のことをより深く理解するとともに、自身の視野を拓げるための機会を提供。対面で開催（11/27）  
(実績) 参加企業 11社、参加学生 36人

### ○ 課外活動の実施

- ・4月1日～ 全面禁止
- ・6月29日～  
許可申請を提出し、十分な感染防止対策が施されているか審査のうえ、活動を個別に許可
- ・12月15日～  
対面を伴わないオンラインによる活動を除き、全ての活動を停止
- ・2月10日～  
許可申請を提出し、十分な感染防止対策が施されているか審査のうえ、活動を個別に許可

### ○ 各種大学行事等

#### （学生にかかる主な行事等の状況）

- ・4/6 入学式 → 中止
- ・4/7 新入生オリエンテーション → 4/21に遠隔で実施
- ・4/8 前期授業開始 → 4/22から遠隔授業で開始
- ・4/8 学生の定期健康診断 → 10月に延期して実施
- ・9/30 新入生対象の「ウエルカムセレモニー」を4回に分けて対面開催、約9割（130名/150名）が参加
- ・11/7・8 大学祭「秋華祭」をオンライン開催
- ・3/15 令和2年度卒業式を出席者を卒業生と教職員に限定して実施。保護者・在校生へはYouTube上でライブ及びオンデマンド配信を実施（視聴回数：474回（3/15時点））

#### （学生募集にかかる主な行事等の状況）

- ・例年行っている高校訪問は中止。例年参加している民間企業が主催する進学相談会も多くが中止
- ・8/8 オープンキャンパスを遠隔で開催（特設ホームページアクセス数：2,484件（開設後10日間））
- ・10/3 大学説明会を事前予約制（2部制・各20組）のうえ対面で開催（計37組参加）
- ・10/30 高校生対象オンライン受験相談会を初開催（11名参加）
- ・学校推薦型選抜（11/24）、大学入学共通テスト（1/16・17）、一般選抜試験（2/25・3/8）を、感染防止対策を施して学内で実施

### ○ その他の対応

#### －教員の健康状態および教育実施状況の把握

- ・専任教員について、毎週、健康状態および教育実施状況を報告

## 研究

### ○ コロナ禍の研究推進

- ・学長裁量経費を活用し、新型コロナウイルスに端を発する研究を支援(研究テーマ)
  - ・Covid-19による観光需要減少と関西経済への影響
  - ・奈良県における新型コロナウイルス感染拡大と「住宅セーフティネット」

### ○ 各種行事等

- ・2/5 地域創造研究センターフォーラム「コロナ禍における奈良県経済の課題と展望」を対面と遠隔を併用して実施  
会場参加 16人、オンライン参加 15人

## 地域貢献

### ○ 出前講義

- ・出前講義(新型コロナ感染拡大予防対策を講じている申込み先に対し実施)  
実施 5件、受講者数 計466人  
(実施先:奈良工業高等専門学校、奈良北高等学校、西の京高等学校、奈良教育大学附属中学校、奈良女子大学)

### ○ 各種行事等

- ・奈良県立大学シニアカレッジ  
令和2年度の開催を中止  
令和3年度の受講生募集を見合わせ

## 国際交流

### ○ 留学関係

- ・学生の派遣 中止
- ・海外からの受入 中止。但し、令和元年度後期から受け入れていた学生については、予定通り9月まで継続して受入

### ○ 各種行事等

- ・東アジア・サマースクール2020を中止
- ・E-cafe (イングリッシュ・カフェ)  
前期 開催を中止  
後期 対面及びオンラインにより14回実施(10月～1月)
- ・3/24 シンガポール ニーアンポリテクニク校 海外オンラインセミナーを開催

### ○ オンライン語学研修

- ・本学の海外協定校が実施するオンライン英語研修やオンライン講義を学内Webで学生に案内

## 法人運営

### ○ 行動基準の策定、運用

- ・新型コロナウイルスの感染拡大の動向に適切かつ柔軟に対応するため、本学関係者にかかる行動基準を策定（4/17）し、本学HP等にも掲載した。下記6つの活動に対しそれぞれ3段階で行動レベルを設定し、感染拡大状況等に応じて段階的にレベルを見直すことで学内外者に適切な行動を促した。（年度内に8回改定）  
（参考）「行動基準」の対象とする6つの活動  
①講義・授業、②教員・教育研究活動、③事務局、④学生の学内立ち入り、⑤学生の課外活動、⑥学外者の学内立ち入り
- ・教員への自宅研究の推奨および事務局職員に在宅勤務の導入を行い、出勤率の抑制を図った。（4～5月）
- ・理事会や運営調整会議など、法人および大学の会議等においても、Zoomを活用するなどして、感染防止対策を行いながら実施した。

### ○ 在学生へのメッセージの発信（本学HP等）

- －「新型コロナウイルスに関する緊急要請」（4/1）  
感染拡大防止に向けた行動自粛要請や前期授業開始の繰り下げなどを発信
- －「『緊急事態宣言』を受けての対応について」（4/8）  
大阪府・兵庫県を含む7都府県への宣言発令による不要不急の外出自粛、対象地域内への往来自粛等を要請
- －「後学期の授業の検討状況のお知らせと夏季休業中の新型コロナウイルス感染拡大防止の注意喚起」（7/31）  
本学学生に対し、後学期の授業について対面授業を希望し安全に通学できる学生への対面授業の実施の可能性について学内で検討を行っていることを発信。あわせて、夏季休業中のゼミ活動や課外活動、日常生活などで特に留意すべきことについて注意喚起
- －「後学期開始に向けてのお知らせ（第1弾～第3弾）」（9/18、25、30）  
後学期の学生支援、授業形態、施設の利用ルール、健康診断、課外活動等について、新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえ学生に周知
- －「発熱等の体調不良時の対応に関するガイドラインについて」（10/21）  
体調不良時の初期対応や大学への報告と通学の再開等について周知

### ○ 構内施設の感染症対策

- ・各建物の入口  
非接触型体温計、手指用消毒アルコールを設置
- ・3号館PCルーム  
座席間にペット樹脂製パーテーションを設置
- ・各教室等  
消毒用アルコールを設置
- ・食堂  
座席間にパーテーションを設置  
昼食時には食堂や教室を巡視し、感染予防に留意した食事を啓発
- ・事務局  
受付カウンターにペット樹脂製パーテーションを設置

### ○ 附属高校関連

- ・5/30 附属高校学校説明会 → 中止
- ・7/27 附属高校の開校延期を決定（R3年4月→R4年4月）
- ・11/27・28 中学校向けに学校説明会を実施（計35名参加）
- ・1/9 教育関係者向けに学校説明会を実施（24名参加）
- ・3/20 中学生・保護者向けに学校説明会を実施。会場参加は教育関係者に限定し、中学生・保護者はオンライン（計413名参加）